SII

IP7-011

U00114444001

IP-7900 溶剤インク カラーインクジェットプリンタ
メッシュ印刷キット

取扱説明書

IP-7900 Solvent Ink Color Inkjet Printer
Mesh Printing Kit

User's Guide

日本語

ENGLISH

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、
正しくお取り扱いください。
また、お読みになった後も、必要なときにすぐに
見られるよう、大切に保管してください。

Read this User's Guide carefully before use of this printer and handle it properly.
After reading, keep it for later use.

株式会社 セイコーアイ・インフォテック

Seiko I Infotech Inc.

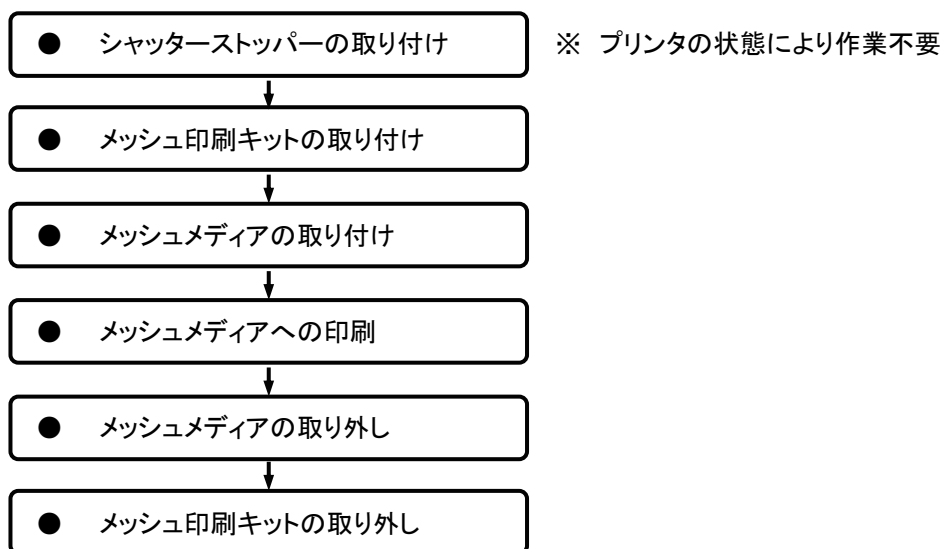
日本語

■ はじめに

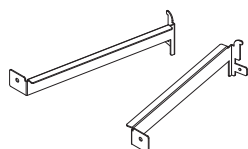
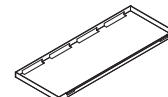
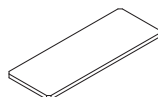
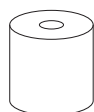
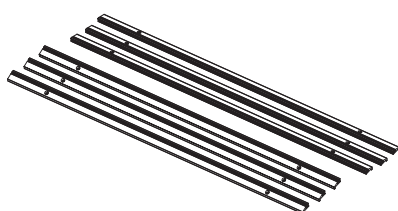
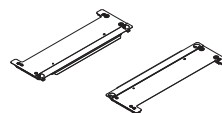
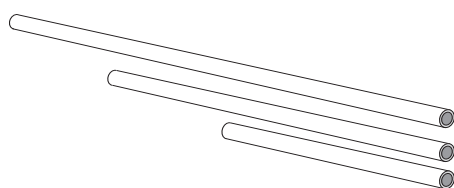
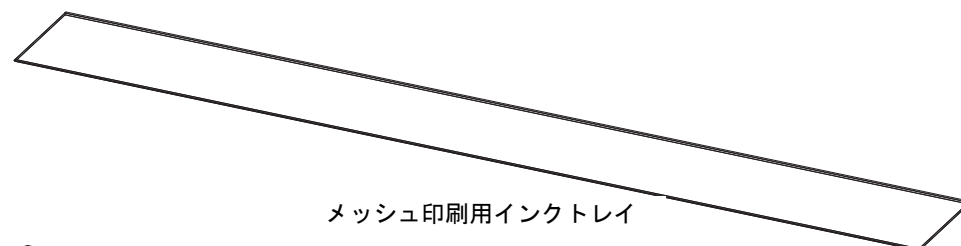
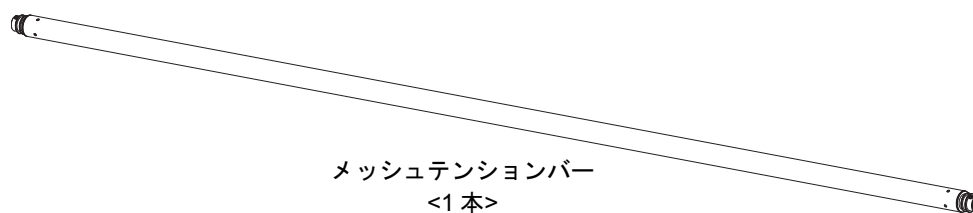
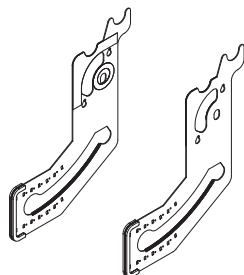
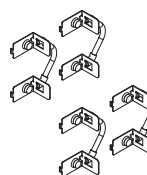
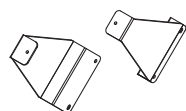
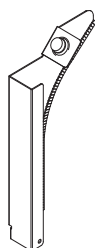
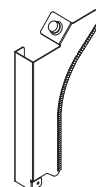
この取扱説明書は、オプションのメッシュ印刷キットを使用して、ライナーがセットされていないメッシュメディアに印刷するための手順、および取り扱い方法について説明したものです。
ライナーがセットされているメッシュメディアを使用するときは、キットを使用する必要はなく、以下の手順も必要ありません。

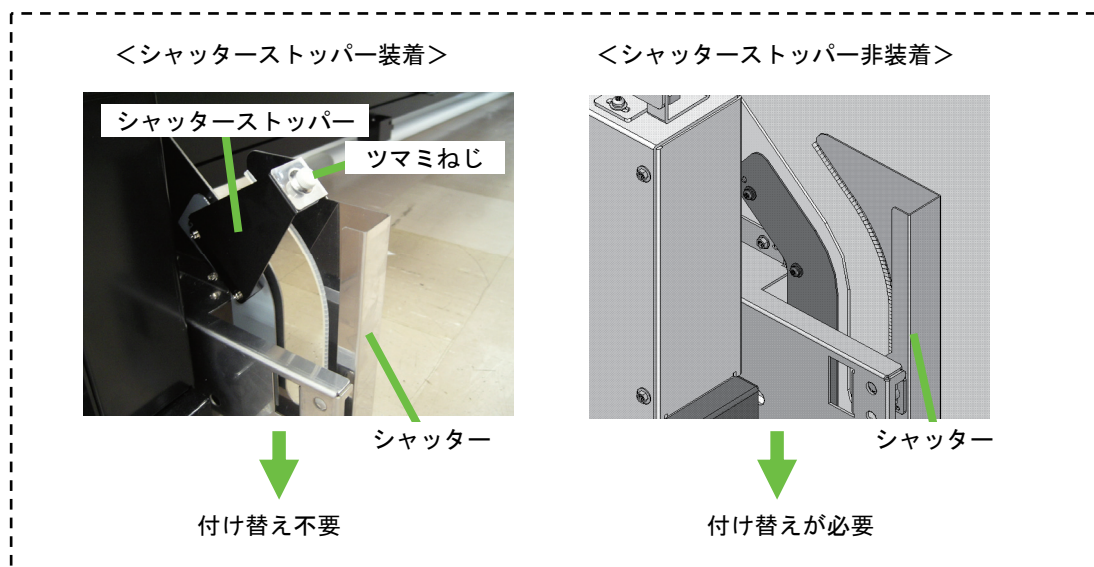
注意

- メッシュターポリンに印刷するときは、ここで説明するメッシュ印刷キット（別売）をお買い求めください。メッシュ印刷キットを使用しないで印刷すると、メッシュターポリンのメッシュ部分をインクが通過し、裏面やプラテンが汚れてしまいます。
- 厚さが薄く、コシのないターポリン（建築養生用として販売されているもの。メッシュターポリンも含む）は、波打ちによるヘッドこすれや、スキュー・巻きずれ等の不具合が発生しやすいメディアです。ご使用される場合には本書に記載されている注意事項をお読みになり、これらの不具合が発生しやすいことをご理解の上、ご使用ください。
- メッシュ印刷キットを取り付けた場合、水平方向のマージンが変わるため、ソフトウェア RIP の自動レイアウト機能では、正しくレイアウトできません。RIP にて、直接、水平方向のオフセットを入力して印刷開始位置を調整してください。

この取扱説明書では、下記の手順で説明しています。

■　梱包内容

このメッシュ印刷キットには下記の部品が含まれています。

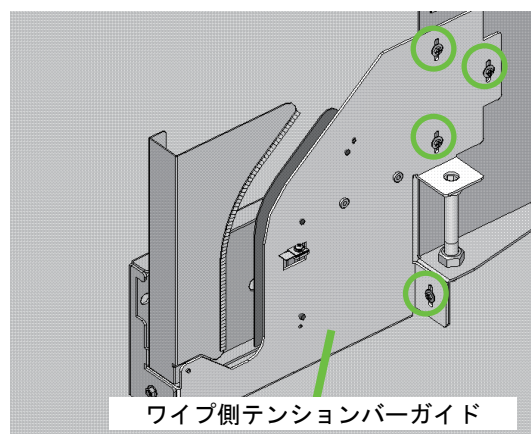
欠品がないか、破損や変形がないか、必ずご確認ください。

メッシュテンションバー
<1 本>
メッシュテンショナーブラケット
<1 組>
テンション調整用ばね
<強・弱 各 1 組>
給紙専用フランジ（ねじ付き）
<1 組>
給紙専用フランジ、固定リング
<1 組>
シャッターストッパー
<2 個>
セムスねじ M4x18
（シャッター付け替え用）
<4 本>
シャッター(RACK-R)
<1 個>
シャッター(RACK-L)
<1 個>

日本語

■ シャッターストッパーの取り付け

はじめに、プリンタのテンションバーガイド部分を確認してください。

テンションバーガイドにツマミねじの無いタイプの場合には、メッシュ印刷キットを取り付ける前に、以下の手順で、シャッターストッパーを取り付け、同梱のツマミねじがあるタイプのシャッターに付け替えてください。

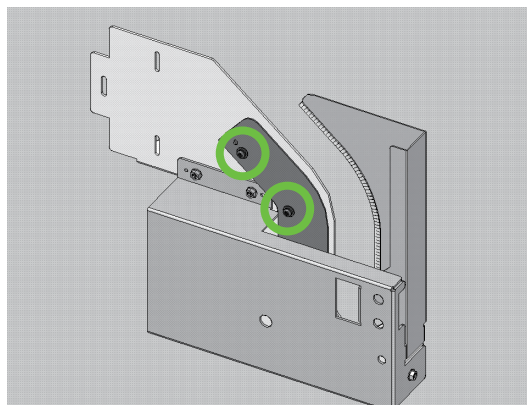
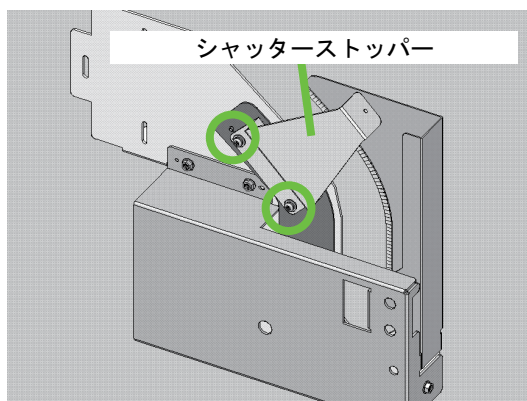
注意

- シャッターストッパー非装着のまま印刷をすると、テンションバーのギヤが歯飛びすることがあります。
- シャッターストッパーおよびここで取り付ける部材は、メッシュ印刷キットを使用する/しないに関わらず、装着したままで構いません。

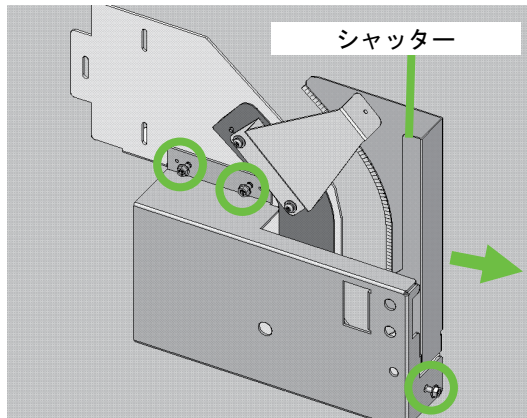
◆ シャッターストッパーの取り付け（ワイプ側テンションバーガイド）

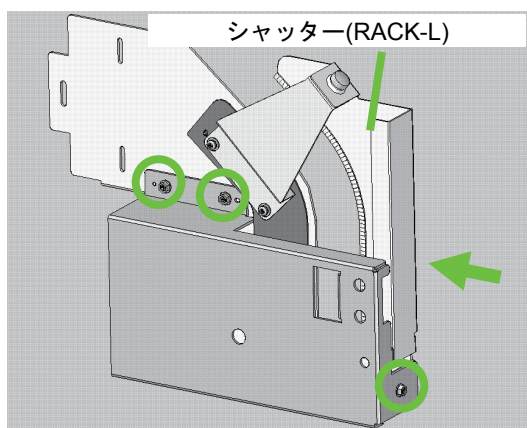
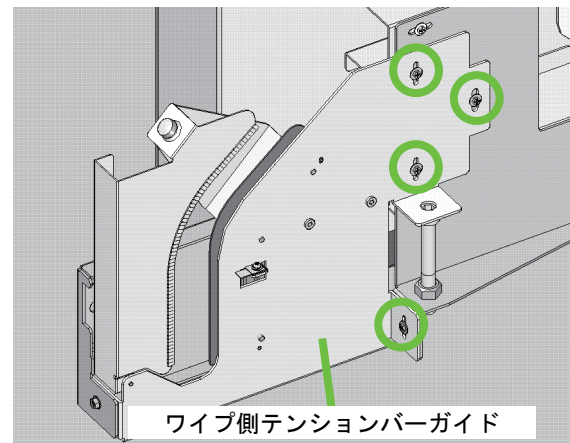
1. ワイプ側テンションバーガイドを取り外します（ねじ 4 本）。

2. 図のねじ 2 本を外します。

注意

ここで外したねじは再利用しません。
廃棄してください。

3. 前の手順で外した位置に、2 本のセムスねじ M4x18（キット同梱品）でシャッターストッパーを取り付けます。

4. 図のねじ 3 本をゆるめ、シャッターを取り外します。

注意

シャッター可動部が外せるくらいにねじをゆるめます。ねじを取り外す必要はありません。

5. キット同梱品のシャッター(RACK-L)に付け替え、前の手順でゆるめたねじを締めます。

日本語

6. 手順 1 で外したねじ 4 本で、ワイプ側テンションバーガイドを元のとおり取り付けます。

◆ シャッターストッパーの取り付け（キャップ側テンションバーガイド）

「シャッターストッパーの取り付け（ワイプ側テンションバーガイド）」と同じ要領で、キャップ側テンションバーガイドのシャッターストッパーを取り付け、既存のシャッターを同梱のシャッター(RACK-R)に付け替えてください。

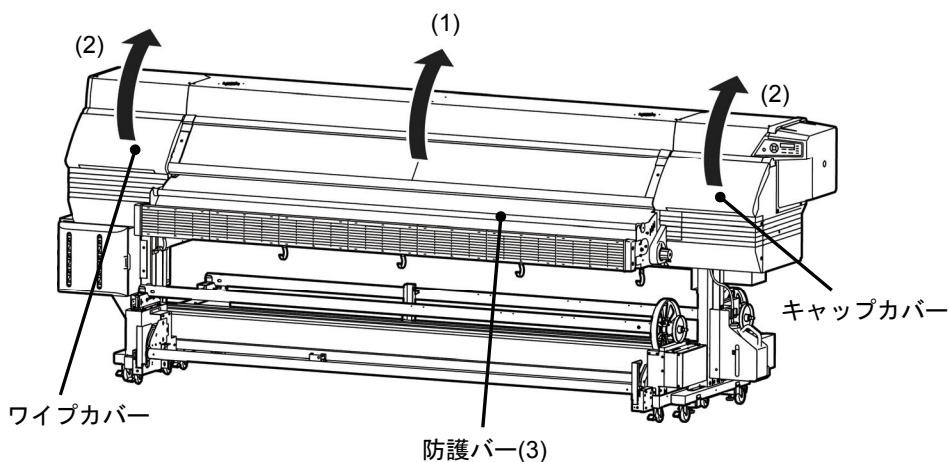
■ メッシュ印刷キットの取り付け

はじめに、次の手順でメッシュ印刷キットを取り付けます。

注意

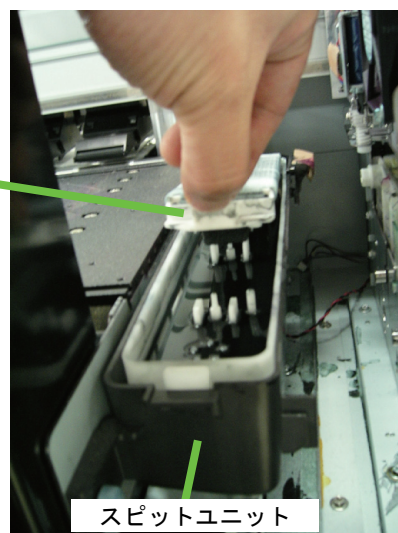
シャッターストッパーが装着されていない場合には、あらかじめシャッターストッパーを取り付けてください。詳しくは「シャッターストッパーの取り付け」をご覧ください。

1. プリンタの電源をオフにします。

2. フロントカバーを開け（1）、続けて、キャップカバーとワイプカバーを開けます（2）。
防護バー(3)も取り外しておきます。

3. スピットユニットから、ホルダー(NET-SPONGE)を取り外します。

注意

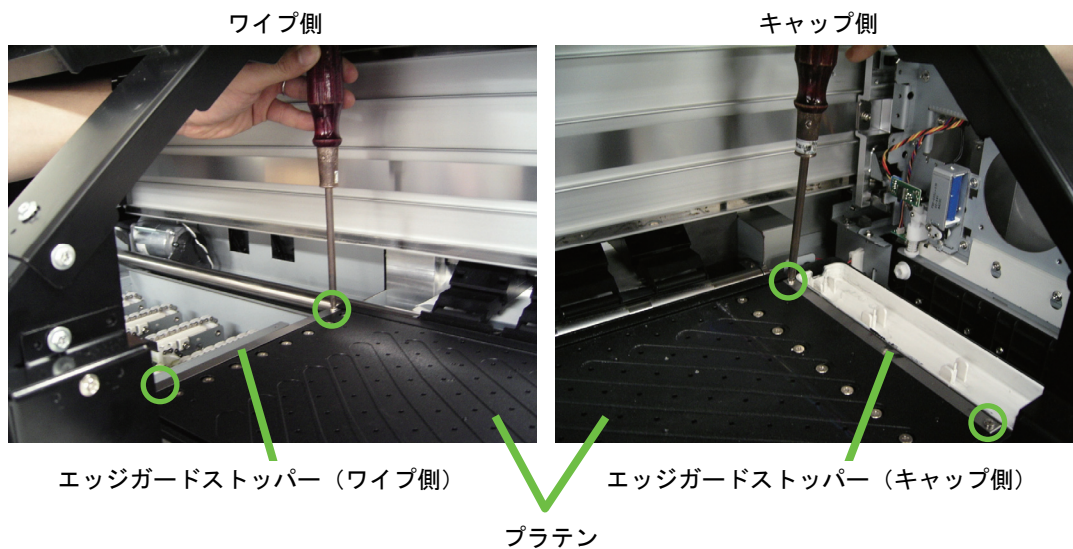
手が汚れるため、必要に応じて手袋等を使用してください。

日本語

4. プラテンの左右両端にあるエッジガード ストッパーを2枚とも取り外します(各ねじ 2本)。

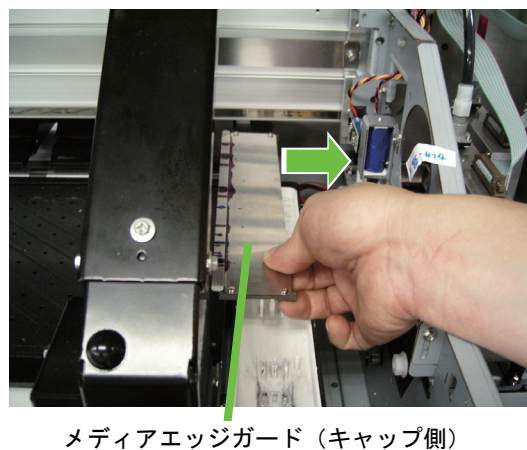
ワイプ側

キャップ側

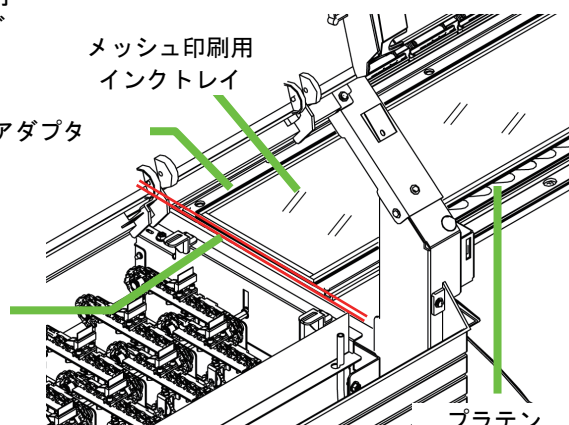
エッジガードストッパー（ワイプ側）

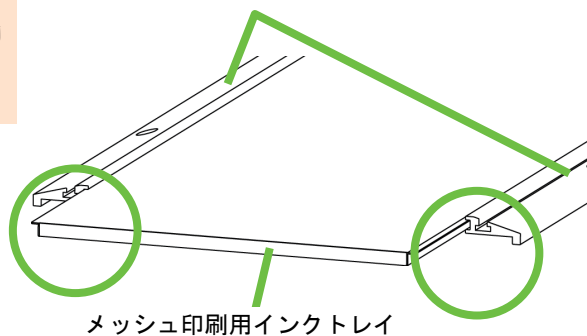
エッジガードストッパー（キャップ側）

プラテン

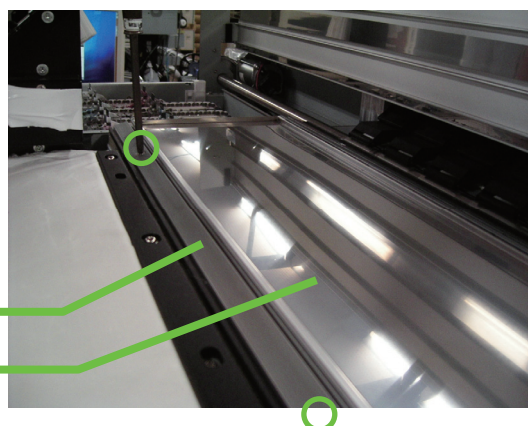
5. プラテン上の2枚のメディアエッジガード をスライドさせ、プラテンから取り外します。

メディアエッジガード（キャップ側）

6. メッシュ印刷用インクトレイ固定アダプタ をプラテンの奥側に取り付けます。6本あ るうち、はじめに奥側に3本を取り付けま す(各ねじ2本)。

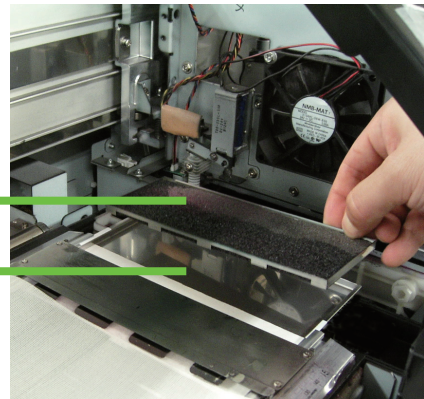
メッシュ印刷用インクトレイ固定アダプタ

7. メッシュ印刷用インクトレイの左端をプラテンの左端にあわせ、前の手順で取り付けたメッシュ印刷用インクトレイ固定アダプタの溝に差し込み、取り付けます。

注意

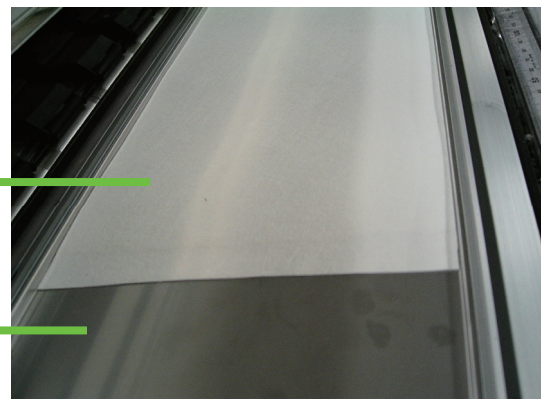
メッシュ印刷用インクトレイの取り付けは、奥側と手前側のメッシュ印刷用インクトレイ固定アダプタの溝に確実にはめ込み、取り付け後は、ういていないこと、動かないことを確認してください。

8. プラテンの手前側にメッシュ印刷用インクトレイ固定アダプタ３本を取り付け（各ねじ２本）、メッシュ印刷用インクトレイを固定します。

日本語

9. メッシュ印刷用インクトレイの右端にメッシュ印刷用スピットケースとメッシュ印刷用吸収スポンジを取り付けます。

メッシュ印刷用吸収スポンジ

メッシュ印刷用スピットケース

10. メッシュ印刷用吸収シートを適切な長さ（印刷するメディアより 4～5cm 長く）に切り、両端に両面テープを貼り付け、メッシュ印刷用インクトレイに貼り付けます（詳しくは「メッシュ印刷用吸収シートについて」をご覧ください）。

メッシュ印刷用吸収シート

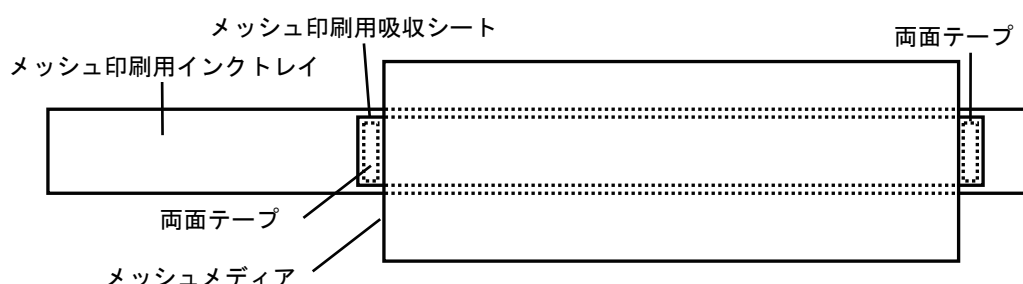
メッシュ印刷用インクトレイ

◆ メッシュ印刷用吸収シートについて

メッシュ印刷用吸収シートを取り付けることによって、メッシュメディアの穴を通過したインク滴を吸収し、印刷終了後の廃インクの処理を容易にします。

以下の要領に従ってメッシュ印刷用吸収シートをお使いください。

注意

一枚のメッシュ印刷用吸収シートで印刷可能な距離は、印刷するメッシュメディアの種類、印刷内容により異なり、一概には規定できませんが、吸収できる量を超え、メッシュ印刷用インクトレイ上にあふれ出す前に交換するようにしてください。そのまま使い続けると、メッシュ印刷用吸収シートの交換時や装置本体からメッシュ印刷用インクトレイを取り外す際にインクがこぼれ、装置やその周辺を汚してしまうことがあります。

(1) 両面テープを貼り付ける場所が印刷領域の外側にくるように、印刷するメディアより 4～5cm 多めの長さにカットします。

注意

メディアと重なる位置に両面テープを貼ると、インクの付着により両面テープの粘着力が無くなり、メッシュ印刷用吸収シートがはがれたり、反ったりし、メディアを汚すことがあります。

(2) メッシュ印刷用吸収シートの左右両端に両面テープ貼り、メッシュ印刷用インクトレイから浮き上がらないように取り付けます。

参考

●メッシュ印刷用吸収シートの重ね貼りについて

メッシュ印刷用吸収シートを重ねて貼ることにより、インクの吸収量が増え、印刷可能な距離が長くなり、後処理が楽になります。ただし重ねすぎると、メディア裏面との距離が近くなり、メディアのたるみ、シワが発生した時に裏汚れの原因となります。メディアの種類と状態、印刷内容により、メッシュ印刷用吸収シートを貼る枚数を決めてください。

●厚手の 1 類メッシュに印刷する場合

厚手の 1 類メッシュは、一般的に開口率が低くて透過インク量も少ないため、メッシュ印刷用吸収シートは長持ちしますが、メディアのたるみやシワが発生し易いので、裏汚れ防止のためメッシュ印刷用吸収シートは 1 枚とすることを推奨します。

●薄手の 2 類メッシュに印刷する場合

薄手の 2 類メッシュは、一般的に開口率が高くて透過インク量も多く、たるみは発生しにくいので、メッシュ印刷用吸収シートの重ね貼りが可能です。

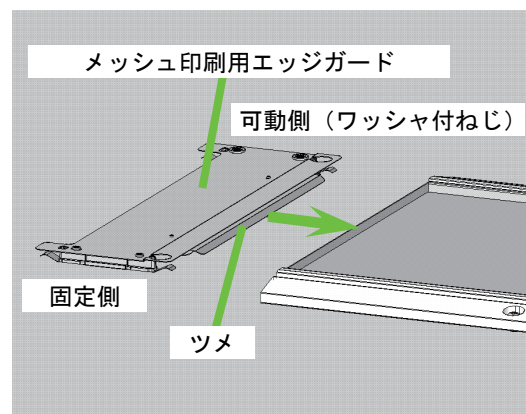
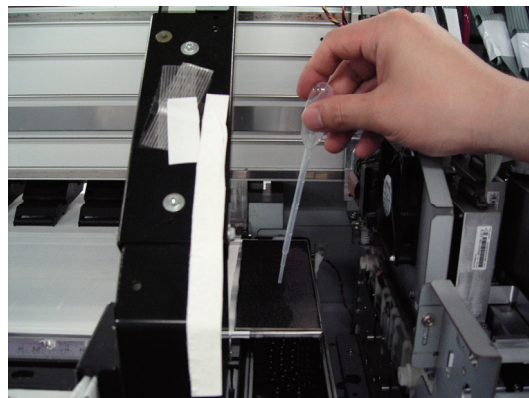
●メッシュ印刷用吸収シート交換までの印刷距離について（例）

例えば、2 類メッシュ（30%程度の開口率）において、2 色重ね全面ベタを、8 色ドラフトモードで印刷した場合、20m の印刷直後で、メッシュ印刷用吸収シート内にインクを保持できなくなります。（メッシュ印刷用インクトレイを外して傾けた時に、ゆっくりインクが流れ出してくる状態）。

2 枚、3 枚と重ねると、その距離は 40、60m と比例して増えます。

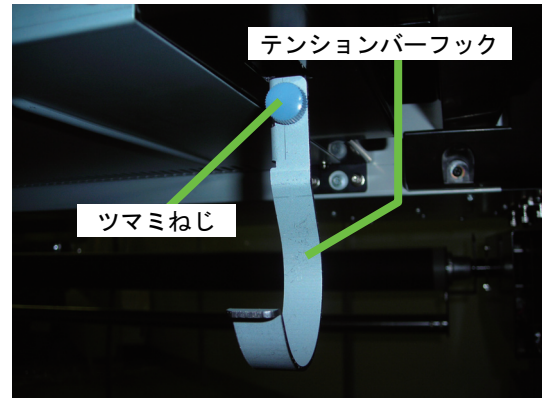
11. 2 枚のメッシュ印刷用エッジガードを、互いの溝（ツメのある側）が向き合うようにメッシュ印刷用インクトレイ固定アダプタの溝に挿入します（メッシュ印刷用エッジガードの可動側を奥側にします）。

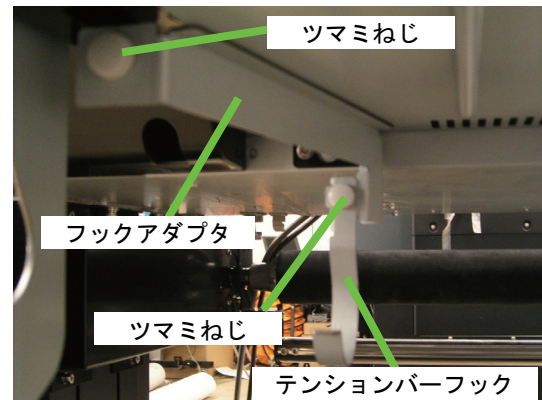
注意

挿入方向を間違えないようにご注意ください。装着したメッシュメディアを 2 枚のメッシュ印刷用エッジガードではさみこむイメージです。

12. スポイトを使い、メッシュ印刷用吸収スポンジ全体が湿る程度にスピット液をつけます。

13. フックアダプタを取り付け、テンションバーフックの取り付け位置を変更します。

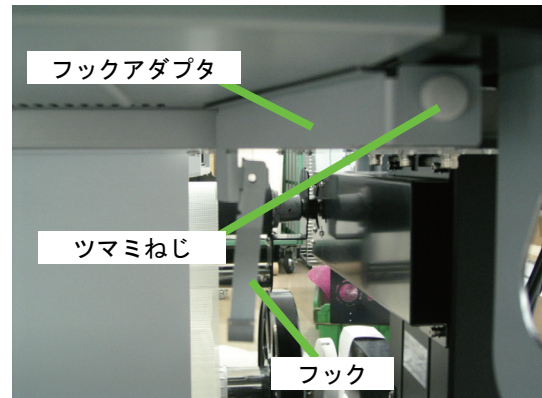
(1) フロントペーパーガイドの下部にあるテンションバーフックのツマミねじをゆるめ、5 個すべてのテンションバーフックを取り外します。

注意

フックとツマミねじは後の手順で再利用します。手元に置いてください。

(2) テンションバーフックの左端の取り付け位置に、テンションバーフックおよびフックアダプタを取り付けます。

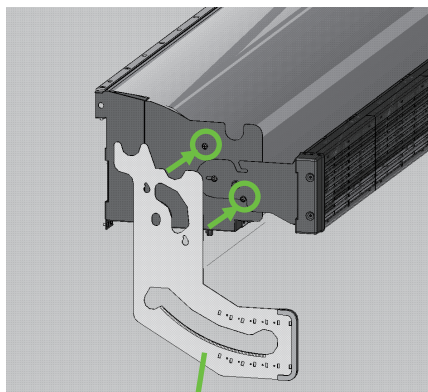
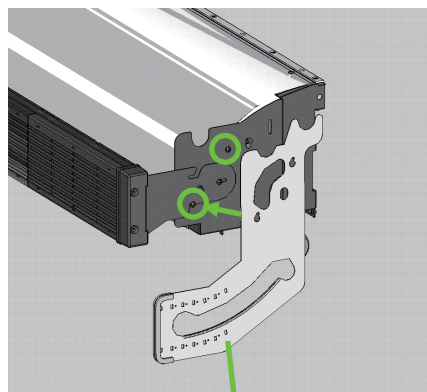
フックアダプタのツメを奥の穴に引っ掛け、ツマミねじで固定します。続けて、フックアダプタに対してフックをツマミねじで取り付けます。

(3) 前の手順と同様に、テンションバーフックの右端の取り付け位置に、フックアダプタを取り付けます。

注意

フックとツマミねじは、元々取り付けてあったものをお使いください（余ったツマミねじとフック 3 組は保管しておいてください）。

<テンションバーセット時のイメージ>

日本語

14. メディア乾燥ファンの取り付けねじにメッシュテンショナーブラケットを取り付けます（左右２個所）。

図のように、元々装着されているねじ位置に、メッシュテンショナーブラケットをはめ込み、下へスライドさせて固定します。

メッシュテンショナーブラケット

メッシュテンショナーブラケット

注意

メッシュテンショナーブラケットは、プリンタ前方に突き出ますので、手や足など体の一部をぶつけないように十分ご注意ください。使用しないときは、取り外しておくことをお勧めします。

15. メッシュテンショナーブラケットの凹部に防護バーを載せます。

16. 防護バーにコルゲート管を取り付けます。

前の手順でセットした防護バーに対して、コルゲート管の割れを拡げながら、かぶせるように取り付けてください。

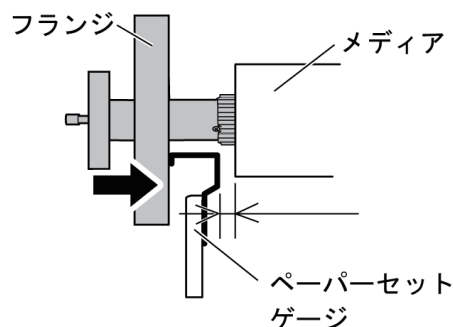
17. コルゲート管を取り付けた防護バーを、いったん取り外しておきます。

注意

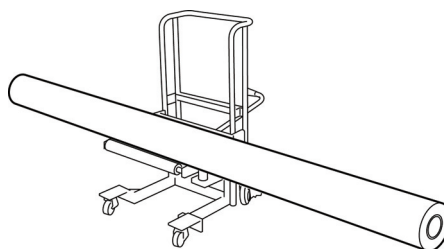
後の手順で説明していますが、コルゲート管を装着した防護バーは、使用するメッシュメディアの種類によって、使用する場合としない場合があります。

18. ワイプカバーとキャップカバーを閉めます。以上で取り付けは終了です。

■ メッシュメディアの取り付け

前の手順でメッシュ印刷キットを取り付けたら、下記の手順でメッシュメディアをスクローラへ取り付けます。取り付け方法は、通常の「ロール給紙」の取り付けと同様です。
ただし、通常のターポリンよりも、メディア端とフランジの間隔を広くとる必要があります。おおよそで構いませんが、10～20mm(指幅 1 本程度)広くしてください。

参考

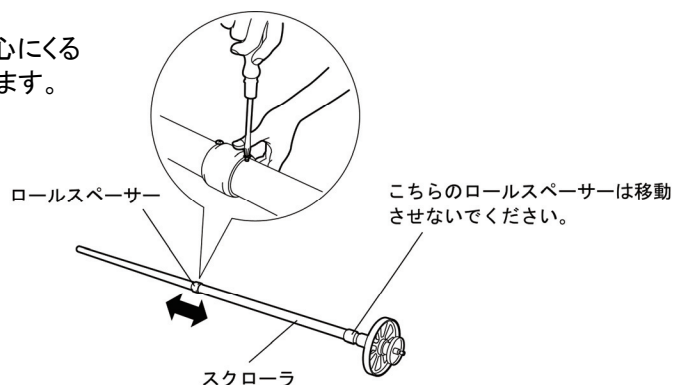
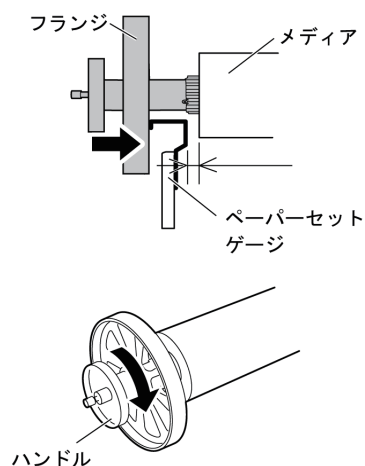
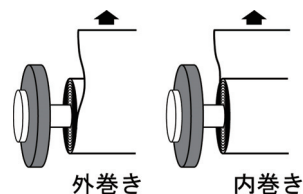
メッシュメディアは、通常のターポリンよりスキューや巻きズレが大きめになります。例えば、ホームポジション側へズレが進行した場合、メディアの端がエッジガードに接触し、折れ曲がったり、シワになったりすることがあります。こうした状態を防ぐために、通常のメディアよりも、メディア端とフランジの間隔を広くする必要があります。

1. メディアを台の上にのせます。

参考

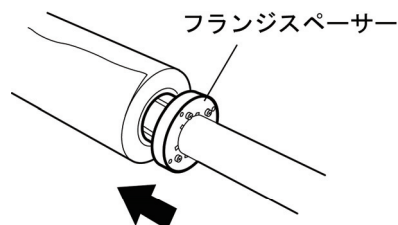
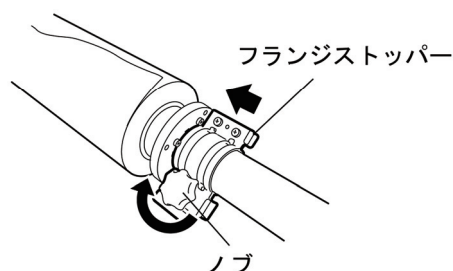
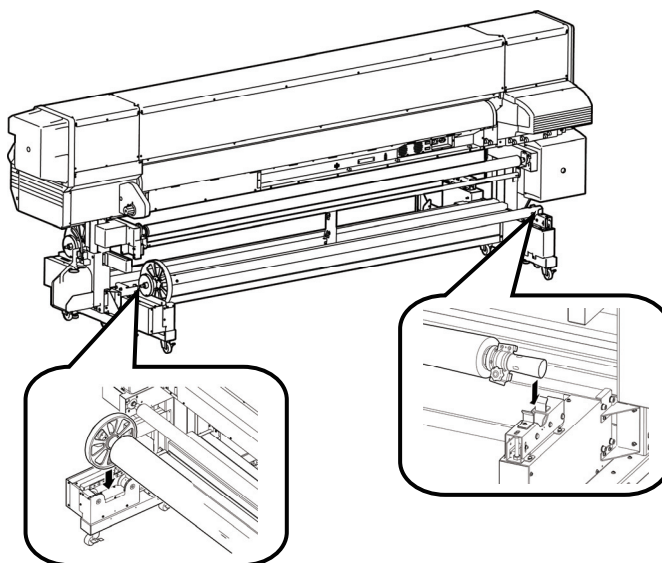
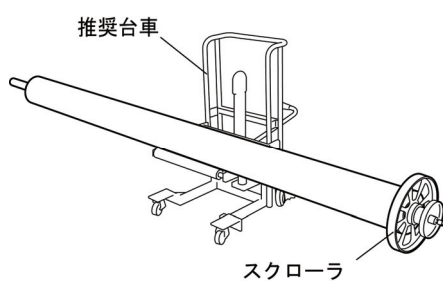
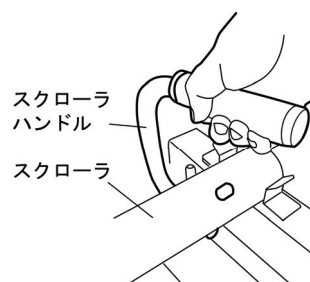
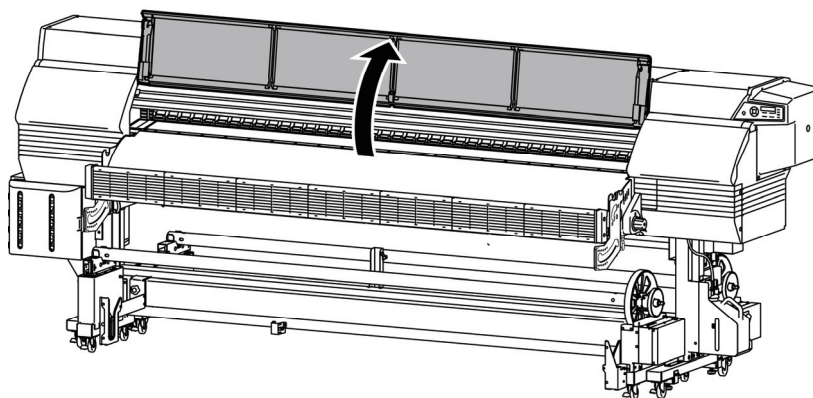
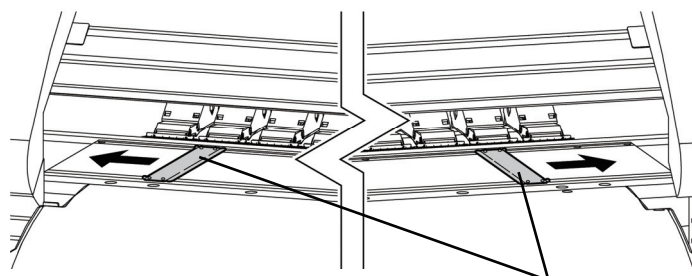
台車をご使用される場合は、弊社の推奨品をご利用頂くことをおすすめします。(詳しくは当社までお問い合わせください。)

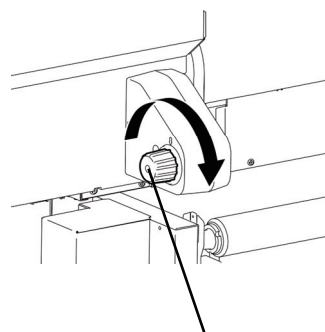
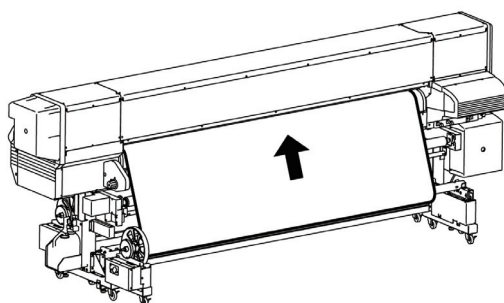
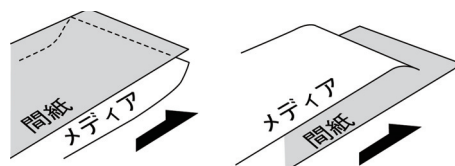
日本語

2. メディア幅に合わせてロールスペーサーの位置を調整します。

ねじ２ 本をはずし、メディアの中心にくるようにロールスペーサーを動かします。ねじ止め位置は３ ヶ所あります。

3. スクローラを紙管に通し、メディア端とフランジの間隔を決め、メインスクローラを固定します。

① メディアの巻き方向を確認して、スクローラを紙管に通します。

② ペーパーセットゲージを使い、メディア端とフランジの間隔を決めます。
③ ハンドルを時計回りに止まるところまで回し、スクローラを固定します。

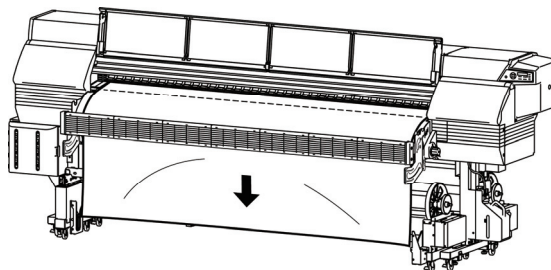
4. フランジスペーサーとフランジストッパーを合わせ取り付けます。

① フランジスペーサーには歯がついていますので、止まるところまで押し込んでください。

② フランジストッパーをフランジスペーサーの爪の位置に合わせて取り付け、ノブを締めて固定します。

5. スクローラをプリンタのローラ溝に合わせて取り付けます。

● 一人でセットする場合：
推奨台車を使用してください。

● 二人で手で持ってセットする場合：
付属品のスクローラハンドルを使用してください。

6. フロントカバーを開けます。

7. メディアエッジガードがメディアの下にならないように、両サイドに移動させておきます。

メディアエッジガード

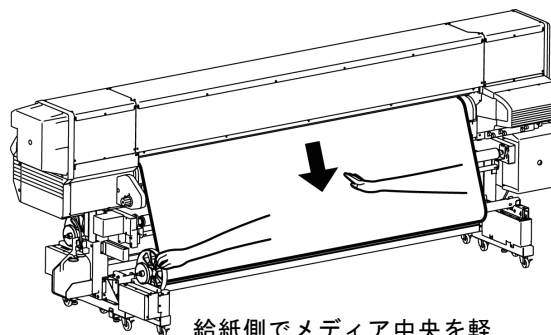
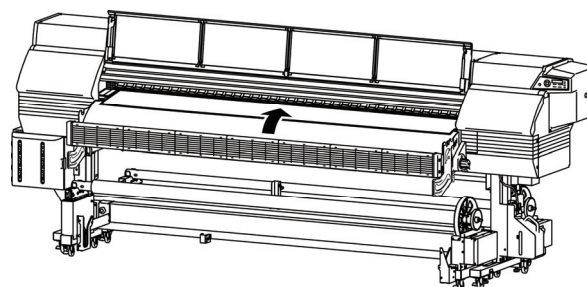
8. 排紙側、または給紙側の加圧操作ノブを時計方向へ回し、加圧ローラを上げます。

9. メディアにシワが入らないように手で伸ばしながら、メディアの先端を給紙部に挿入します。

10. メディアの先端を床に着く手前まで送り出します。

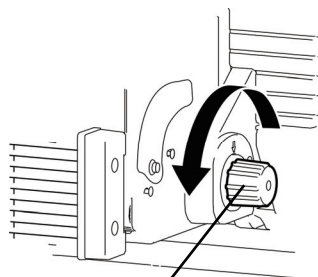
このとき、メディア中央部のシワが無くなるように、プラテン上で両サイドに向けてメディアをならします。

注 意

メディアが斜めだったり、シワが入っていたりするとメディアジャムやスキューの原因になります。

11. メディアをフロントペーパガイドの上部まで巻き戻します。

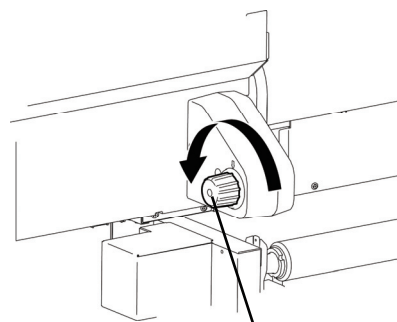
注意

この作業はメディアを正しくセットするために行う重要な作業です。

給紙側でメディア中央を軽く押さえながら戻します。

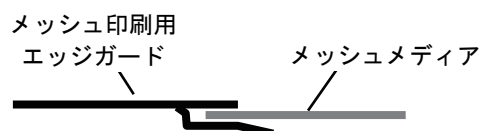
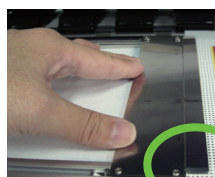
12. 加圧操作ノブを反時計方向に回して、加圧ローラを下げます。

加圧操作ノブ（排紙側）

または

加圧操作ノブ（給紙側）

日本語

13. メッシュ印刷用エッジガードをセットし、メディアが確実にはさみ込まれていることを確認してから、OKキーを押します。

エッジガードカクニン
＊　ＯＫ？

メッシュ印刷用のエッジガードは、メディアをはさみ込む構造になっています。エッジガードをセットする際には、メッシュメディアが確実にはさみ込まれていることを確認してください。

14. フロントカバーを閉めます。

15. ロールメディアを選択します。
操作パネルから、∧キー、∨キーで「ロール」を選択し、OKキーを押します。

メディアヲセンタクシテクダサイ
メディアセンタク：ロール

注意

メッシュメディアは、ロールのみ対応しています。シートでは使用できません。

16. メディアの種類を選択します。
∨キーを数回押し、「メディアヲトウロクシテクダサイ」と表示されたら、OKキーを押します。
これにより、メディア登録メニューに入ります。

シュルイヲセンタクシテクダサイ
シュルイセンタク：ＰＡＰＥＲ

シュルイヲセンタクシテクダサイ
メディアヲトウロクシテクダサイ

- メディア登録方法は、トウロクメニューから登録する場合と同じ操作方法です。取扱説明書の「トウロクメニュー」の項目をご覧ください。
- 一度登録すれば、次回からは、登録した種類を選択するだけです。

◆ メディアの種類の登録（メッシュメディア用パラメータについて）

メッシュメディア用に設定するパラメータは次のとおりです。これ以外のパラメータは、それぞれのメディアと印刷内容に合わせて設定してください。

- エッジガード　:シヨウ[*1]　（推奨）
  *1:シヨウの場合左右両端 10mm、ミシヨウの場合は同 5mm ずつマージンが狭くなる。
- 吸着ファン　:オフ　（必須）
- プリントヒータ初期値　:＊＊℃　（推奨）
- ヘッド高さ調整　:+0.8mm（推奨）
- メディアモドシモード　:モドサナイ [*2]（任意）
  *2:薄手のメディア使用時、印刷終了後の戻し操作によるシワを防止したい場合

注意

- メッシュメディアは、プラテン上で吸着することができないため、多少のシワや波打ちは避けられません。ヘッドの高さはできるだけ高くした方が、ヘッド擦れが起きにくくなりますが、画像の鮮明さは低くなります。メディアの状態と印刷内容により設定値を変更してください。
- エッジガードは必ず使用してください。メッシュメディアは、プラテン上で通常のパスとは異なる為、上方へふくらみができやすく、エッジガードを使用しないとジャムが発生してしまいます。特に厚手のメッシュメディアではふくらみやすくなります。
- 吸着ファンは必ずオフにしてください。オンとすると、わずかな隙間にインクミストが流れ込み、装置が汚れてしまいます。
- 『＊＊℃』は、ヒータオフを意味します。プリントヒータの温度を高くすると、トレイに吐き出されたインクが早く乾き、後処理がし易くなりますが、蒸発するインク溶剤がヘッドに影響して、印刷中にヘッドの抜けが発生しやすくなります。
- メッシュメディアのパラメータは、通常のターポリンとは異なります。ご注意ください。

参考

メッシュメディアの場合、「往復補正値」や、「送り補正値」を通常の方法で合わせせることは非常に困難です。はじめは通常のターポリンの設定値を適用してください。

往復補正値は、通常のターポリンをメッシュ印刷用キット上で印刷して調整することもできます。

「送り補正値」は、印刷物の長さを測定し、設定することもできます。

＜実際に印刷して送り補正値を設定する例＞

- 装置のセッティングは、実際に印刷するときと同じセッティングにする（テンション巻きでメッシュテンショナーを使用する場合はメッシュテンショナーを取り付けた状態にする）。
- 印刷物の長さを測定する場合は、装置から取り外して測定する。

送り補正値が　101.2%で、1m のデータの印刷を行い、印刷物の長さを測定すると 997mm だった場合。

$$\frac{101.2 \times 1000}{997} = 101.5$$

上式により「101.5%」が適正な送り補正値となります。

日本語

17. メディアの種類を選択したら、メディア残量を入力します。

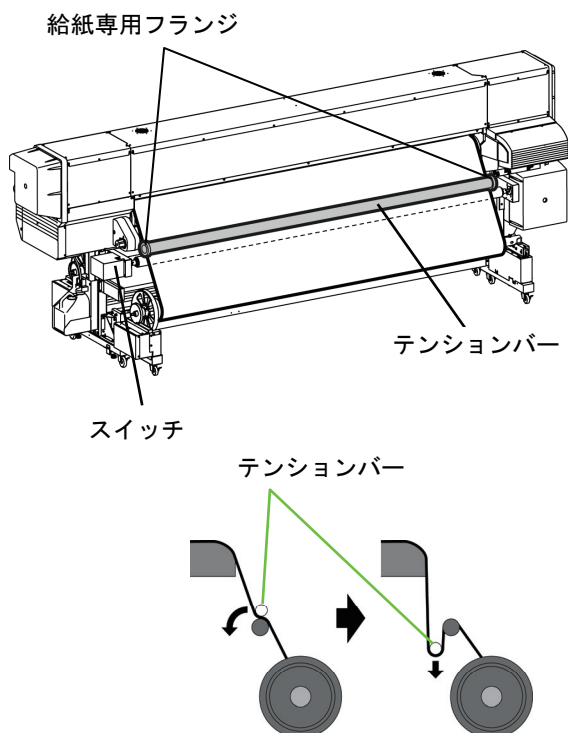
ザンリョウヲセットシテクダサイ ＊XXXm

注意

メディアを取り付けた後、プラテン上のメディアに浮きやシワがないかなどを確認してください。

18. テンションバーをセットします。

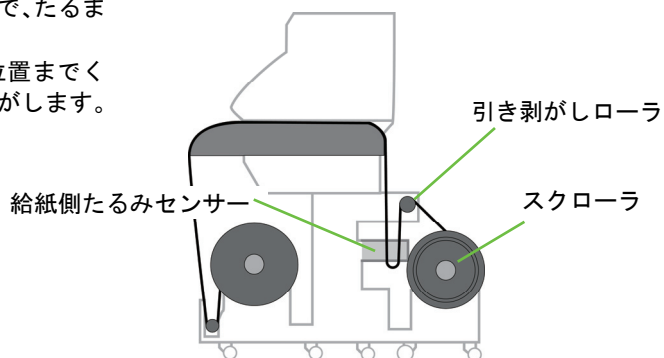
① テンションバーの両端に給紙専用フランジを取り付けます。

② テンションバーを引き剥がしローラ上部に押しあて、給紙側送り出しスイッチ（黒）を押し、テンションバーを奥へ送りこむようにして、たるみを作ります。

注意

- メッシュメディアは、種類によらず、すべてテンション巻きでの巻き取りが必要となります。
- セットするテンションバーは、メッシュメディアの幅に合ったものを使用します。

給紙側たるみセンサーより下まで、たるませます。
たるみがセンサーに反応する位置までくると、パネルから「ピッ」と音がします。

19. メディアセットの確認をします。

20. OKキーを押します。

OKキーを押すと、キャリッジが動き出します。その時、メディアの先端を手で引っ張ってください。

日本語

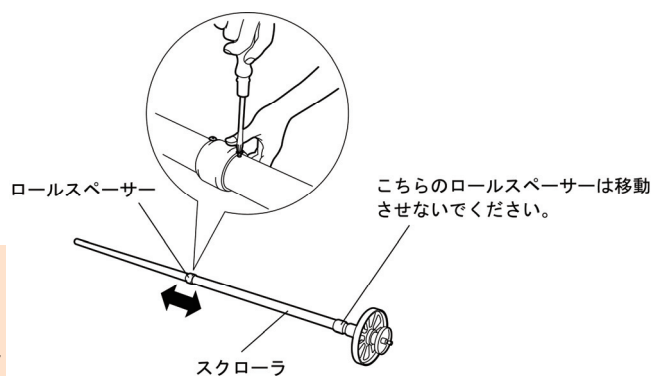
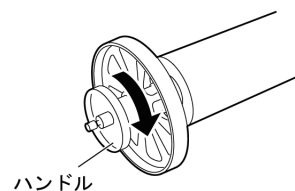
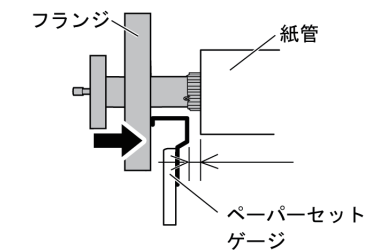
参考

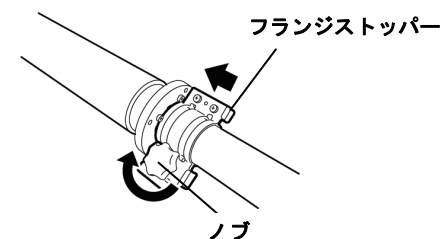
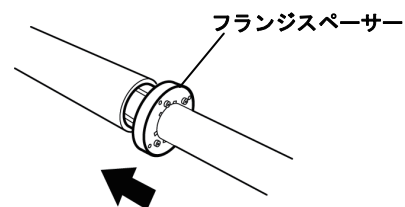
メッシュメディアの印刷では、プラテン上でのメディアの吸着機能を作用させることができません。
また、テンション巻きが必須となりますが、巻き取り装置へ取り付ける前のセット時には、メディアに張力が加わらないため、プラテン上でメディアが浮き上がることがあります。
また、印刷時にはヘッド高さを高く設定しておくことができますが、メディアセット時には、メディア確認のため、ヘッドが標準位置まで降りてきます。従って、メッシュメディアのセット時には、ヘッドとメディア表面が接触しないように、メディア先端を引っ張りメディアに張力を与え浮き上がらないようにしてください。

21. 巻き取り用の紙管を巻き取り装置にセットします。

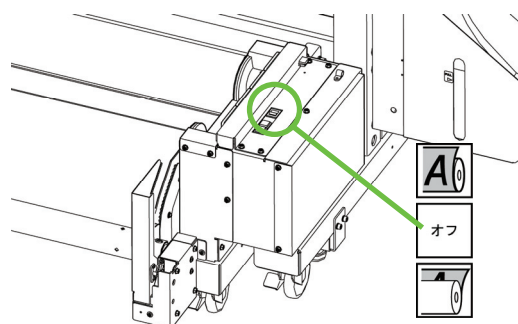
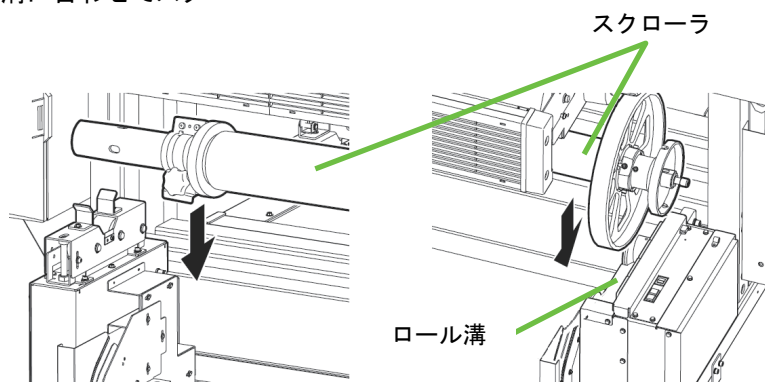
はじめに、メディア幅に合わせてロールスペーサーの位置を調整します。メディアの中心にくるようにロールスペーサーを調整してください。

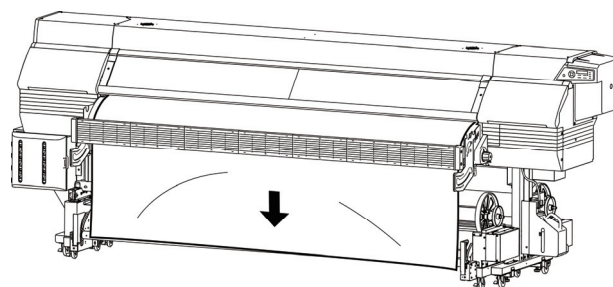
注意

メディアをセットする際には、メディアの位置が通常のメディア使用時より10～20mm移動しているため、巻き取り用の紙管の位置も給紙側に合わせてください。

22. 紙管を用意し、スクローラに取り付けます。
ペーパーセットゲージを使い、紙管のエッジとフランジの間隔を決め、ハンドルを回して固定してください。

23. フランジスペーサーとフランジストッパーを合わせ、取り付けます。

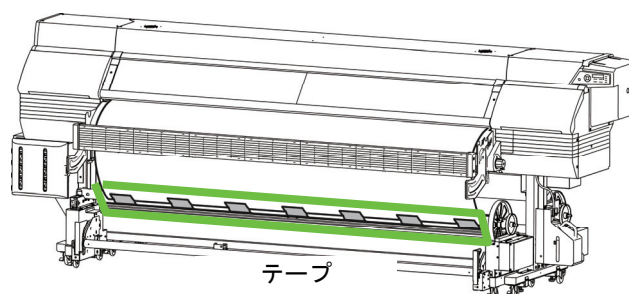
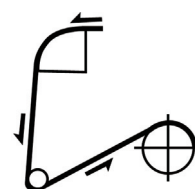
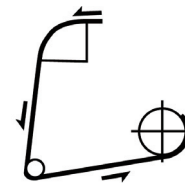
フランジスペーサーを止まるところまで押し込み、爪の位置に合わせて、ノブを締めてください。

24. 巻き取り方向スイッチをオフにします。

注意

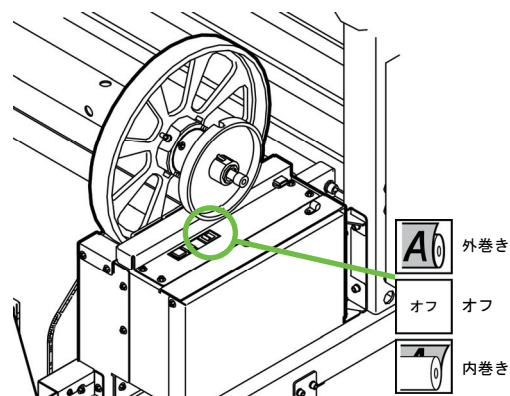
巻き取り方向スイッチをオフにしないで次の操作に進むと、スクローラが固定されないため、手をはさむ原因となります。

25. 巻き取り装置のローラ溝に合わせてスクローラを載せます。

> **注意**
>
> テンションバーはあらかじめテンションバーフックに掛けておいてください。

26. 操作パネルのフィードメニューで、メディアを巻き取れる程度まで送ります。

27. 引き出したメディアを、紙管に取り付けます。

① 巻き取る方向を確認し、メディアのたるみを取り、給紙側と巻き取り側でメディア位置にズレがないことを確認してください。

② テープを使って、最初に中央部分をとめ、次に両端に向かってとめてください。

> **注意**
>
> - 巻き取り側のテープの貼り付け方向に注意してください。
> - メディアを紙管に対して斜めに取り付けると、メディアの斜行の原因となります。

内巻き：
印刷面が内側にくるように巻き取ります。

外巻き：
印刷面が外側にくるように巻き取ります。

日本語

28. 巻き取り方向に合わせて、巻き取り方向スイッチを押します。

29. 操作パネルのフィードメニューでメディアを送り、紙管に 1 周分巻き付けます。

続けて、再度巻き取り方向スイッチを「オフ」にします。

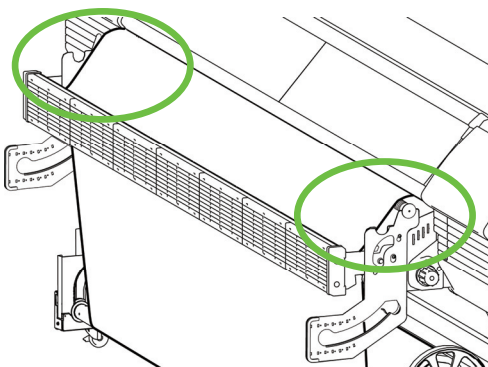
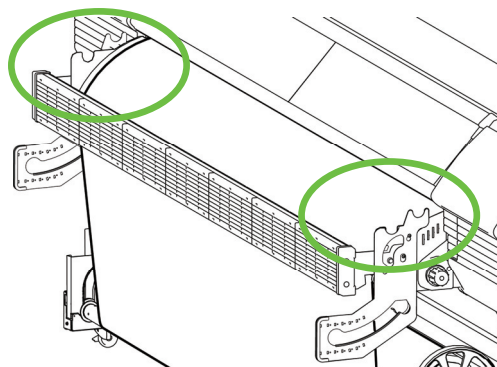
注意

メディアを 1 周分巻き取らずにテンションバーを取り付けると、テープがはがれてしまいます。

30. 操作パネルのフィードメニューで、たるみが作れる程度までメディアを送ります。

テンションバーがガイドの底部にのせられるくらいに、十分なたるみをもたせてください。

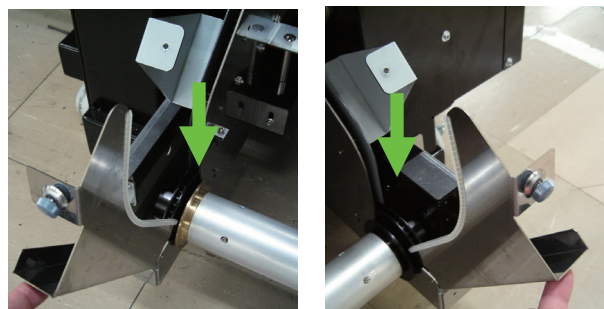
使用するメッシュメディアの種類によってメディアの経路は異なります。

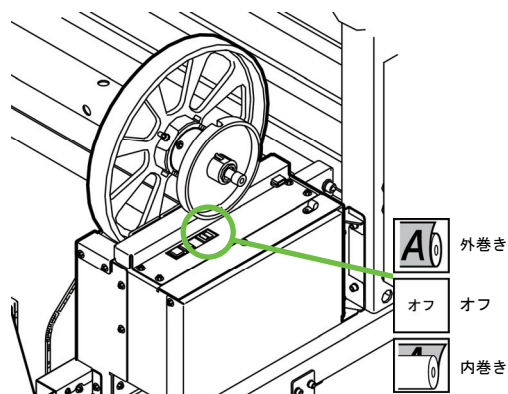
一般的なメッシュメディア（薄手のもの。例えば 2 類）の場合	巻きズレが発生しやすいメッシュメディアの場合
コルゲート管を使用します。（メッシュメディアが上をとおるように）	コルゲート管は外しておき、次の手順に進みます。たるみの状態により、メディアの経路は異なります。

31. テンションバーガイドのツマミねじをゆるめ、カバーを開けます。

32. テンションバーをテンションバーフックから外し、メディアのたるみにのせます。

そして、テンションバーの両端がテンションバーガイドの底に着くのを確認します。

注意

テンションバーが傾いていると、大きな巻きズレの原因となります。テンションバーの両端が確実に底に着いていることを確認してください。

33. テンションバーガイドのカバーを閉じ、ツマミねじを締めます。

34. 巻き取り方向に合わせて、巻き取り方向スイッチを押します。

注意

たるみが多すぎた場合、規定時間内に所定位置まで巻き取れず、警告が表示されることがあります（操作パネルの巻き取り LED が点灯）。
この場合には、一度巻き取り方向スイッチを OFF にしてから、もう一度巻き取り方向スイッチを押してください。

日本語

参考

メディアの斜行、巻きズレは、メディアセット直後に多く発生します。特にメッシュメディアではその傾向が顕著です。巻き取り装置へのセットの過程だけで 5mm 近くずれることもあります。
そのような場合には、巻き取り装置へのセット完了後、以下の手順で、装置にメディア位置を再認識させてください。

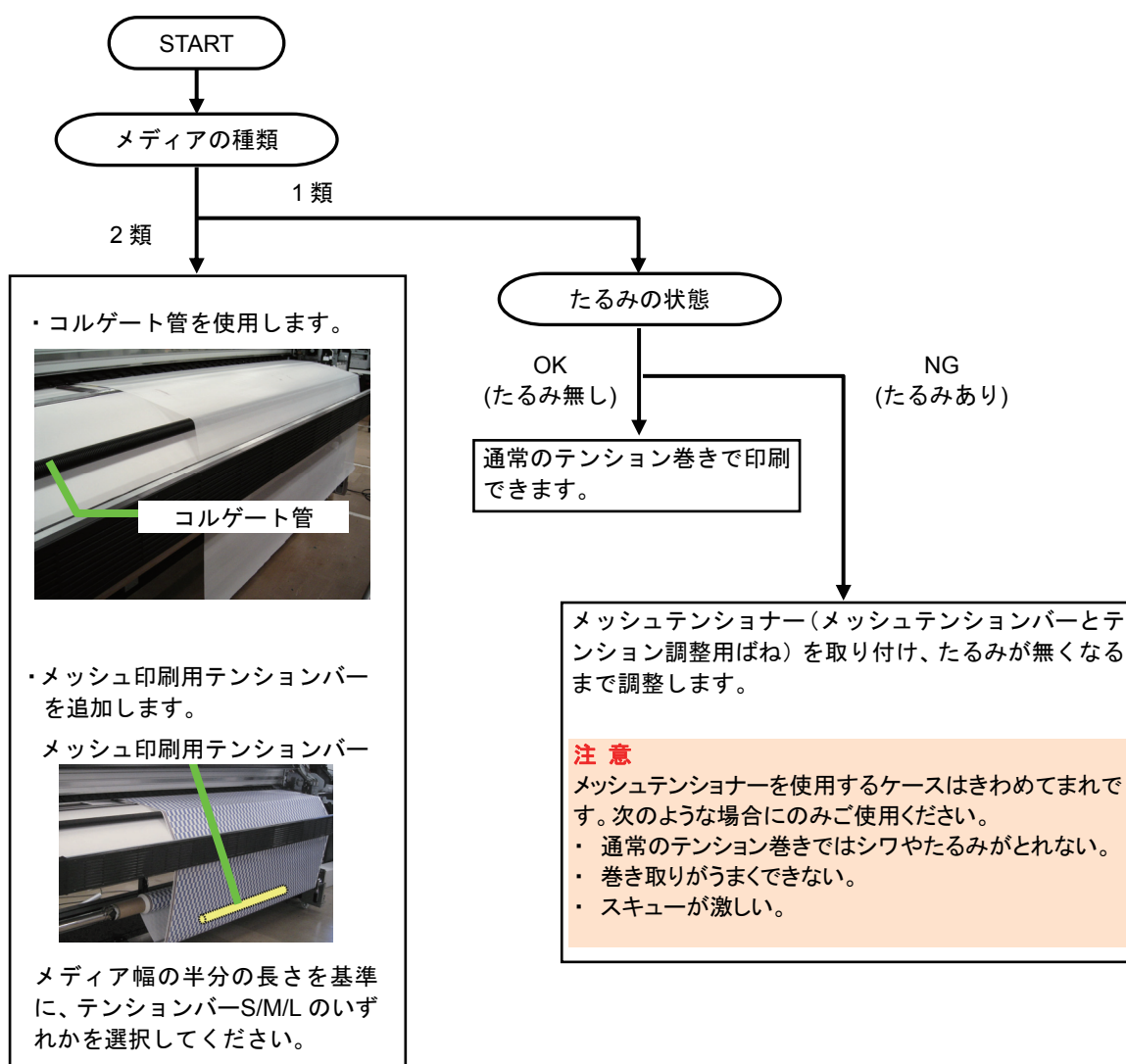
① フロントカバーを開けます。
② メディアが動かないようにリアペーパーガイドの中央付近を手で押さえながら、グリップを解除します。
③ 操作パネルから「ピッ」と発信音の後、再びグリップします。
④ エッジガードを正しくセットし、フロントカバーを閉めます。
⑤ 操作パネルに「エッジガードカクニン」と表示されたら、OKキーを 4 回押します。
⑥ メディア認識動作が始まります。

35. プラテン上のメディアのたるみ状態を目で見て確認します。

たるみがある場合、たるみがなくなるまで調整してください。

注意

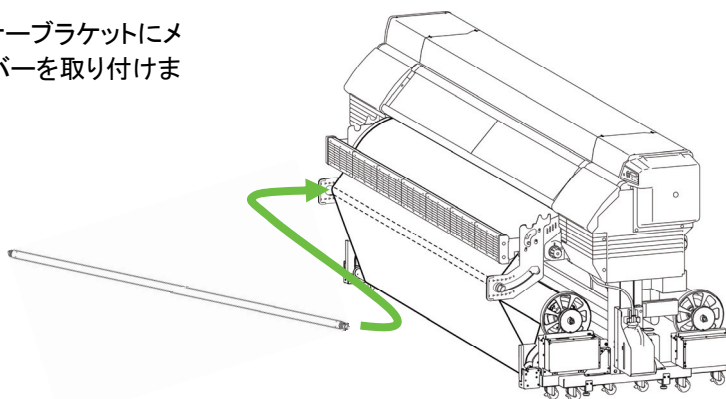
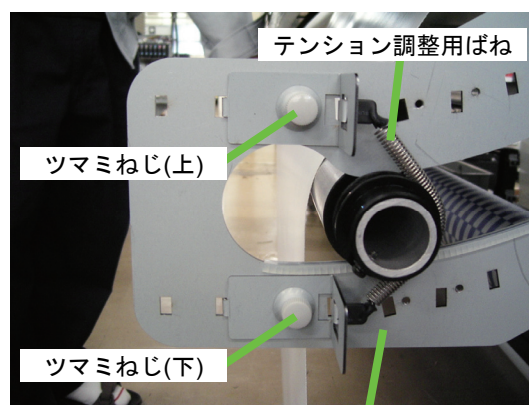
- ここでの確認と調整はメディアを正しく搬送するするために行う重要な作業です。
- 巻きズレが発生しやすいメッシュメディアを使用する場合は、プラテン上のシワの状態に注目し、十分に確認・調整を行ってください。

日本語

◆ メッシュテンショナーの取り付け

メッシュテンショナーとは、テンション調整用ばねと水平方向テンションバーの組み合わせの総称です。これにより、適切な方向にテンションをかけ、メッシュメディアのたるみを防止します。

注意

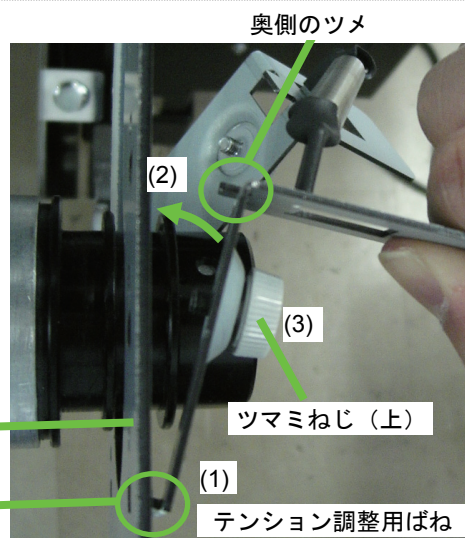
前の手順に記載されているとおり、必要な場合に限り、以下の手順でメッシュテンショナーを取り付けてください。

(1) メッシュテンショナーブラケットにメッシュテンションバーを取り付けます。

(2) プラテン上のメディアのたるみ状態を見て、左右どちらか（たるみの発生している側）のメッシュテンショナーブラケットに、テンション調整用ばねを取り付けます。

メッシュテンショナーブラケット

<テンション調整用ばねの取り付け>
はじめにツマミねじ（上）の部分を取り付けます。
手前側のツメをメッシュテンショナーブラケットの穴に引っ掛け(1)、
奥側のツメを穴に入れ(2)、
ツマミねじ（上）で固定します(3)。

ツマミねじ（下）の部分を同じように取り付けます。

メッシュテンショナーブラケット

手前側のツメ

<プリンタ上側より>

注意

たるみがなくなるように、テンション調整用ばねの強さと取り付け位置を以下のように調整してください。

- テンション調整用ばねの種類(強・弱)および位置
- テンション調整用ばねの左右の掛け具合

参考

たるみの発生した側にテンション調整用ばねを取り付けた際に、反対側にたるみが発生した場合は、左右のバランスがとれていない可能性があるため、ばねの取り付け位置を変更するか、反対側のメッシュテンショナーブラケットにもテンション調整用ばねを取り付けて調整してください。

(3) フィードメニューでメディアを送り、プラテン上のメディアのたるみ状態を確認します。

たるみが無くなれば印刷準備完了です。

注意

周囲の温度・湿度やメディアの状態によりばねの調整位置が変わることがあるため、たるみの状態は、メディアを載せ替える度に確認してください。

36. 印刷を開始します。

■ メッシュメディアへの印刷

通常のロールメディアへの印刷と同様に印刷を行います。

印刷については取扱説明書をご覧ください。

注意

- メッシュ印刷用エッジガード装着により、左右各々10mm ずつ印刷領域が減少します。
- センタリングやオフセットのマージンを変更した場合でも、原点は、ワイプ側にあるメッシュ印刷用エッジガードの左端です。設定の際にご留意ください。

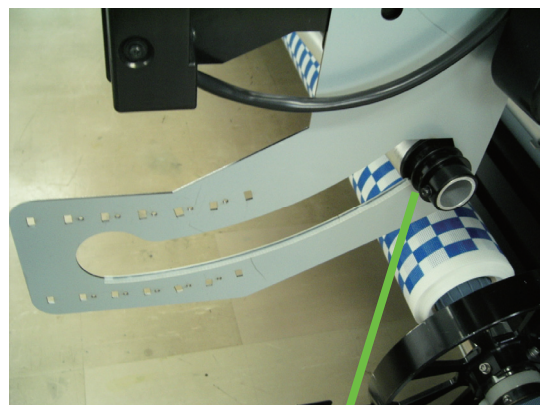
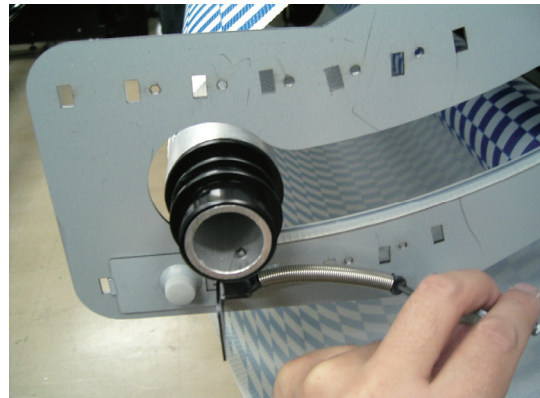
◆ 印刷が終わったら（メッシュテンショナーを使用した場合のみ）

メッシュテンショナーを使用した場合にのみ、印刷終了後、次の手順にて、メッシュメディアにかかるテンションを解除してください。

注意

メッシュテンションバーと、テンション調整用ばねを使用した場合には、印刷終了後、速やかにここでの手順を行ってください。
メッシュメディアにテンションをかけ続けると、メディアが伸張するなどの可能性があります。

1. 印刷後、テンション調整用ばねのツマミねじ（上）をはずし、テンションを解除します。

2. メッシュテンションバーをメッシュテンショナーブラケットの格納位置に戻します。

メッシュテンショナーブラケットの格納位置

■ メッシュメディアの取り外し

メッシュ印刷用インクトレイにたまった廃インクが乾いていない状態でメディアを取り外す場合、メッシュ印刷用インクトレイ上でメディアがたるむと、メディアの裏面が廃インクと接触して汚れてしまいます。このため、印刷面を汚さずに、汚れた範囲を取り除く手順が必要です。
必ず、次の手順でメディアを取り外してください。

1. 印刷が終了したメディアを、プラテンとペーパーガイドとの隙間でカットできるようにフィードします。

2. フロントカバーを開けます。

3. メディアが動かないようにフロントペーパーガイドの中央付近を手で押さえながら、グリップを解除します。

操作パネルが「ピッ」と鳴り、その後、再びグリップします。

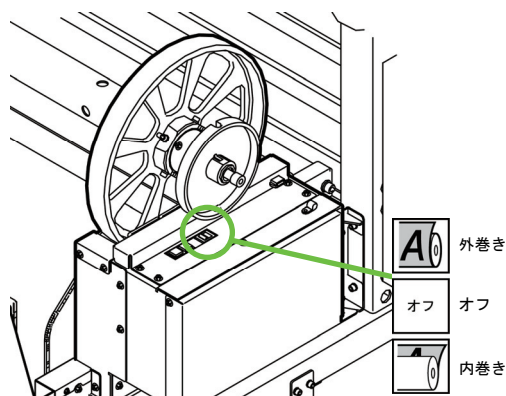
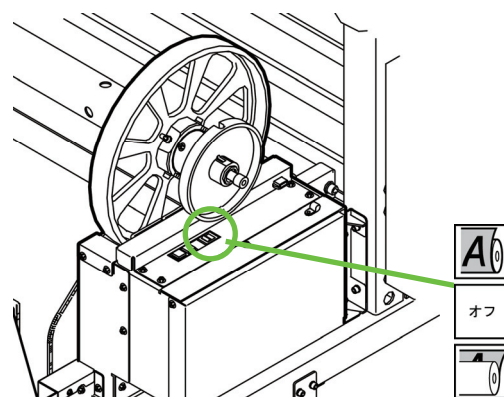
注意

グリップの一旦解除、再グリップで、巻き取りスイッチが有効となります。操作パネルのボタンは押さないでください。

4. 巻き取り方向スイッチを、一旦オフにします。

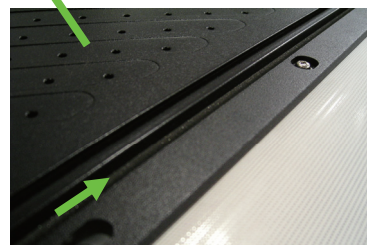
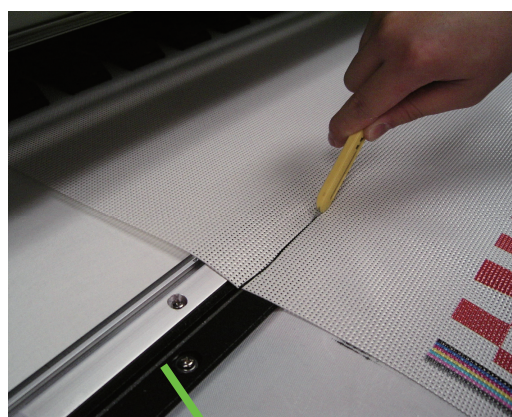
5. テンションバーガイドのカバーを開けます。

6. 排紙側のテンションバーをテンションバーフックにかけます。

日本語

7. 巻き取り方向に合わせて、再び巻き取り方向スイッチを押します。

8. メディアをカットします。
プラテンとペーパーガイドとの隙間にカッターナイフの刃を入れてメディアをカットしてください。

メディアをカットすると、メッシュ印刷用インクトレイ上に残ったメディアは張力を失ってたるんでしまい、裏面が汚れてしまいます。この汚れた部分は、後の手順で取り除きます。

＜カッターナイフの刃を入れる箇所＞

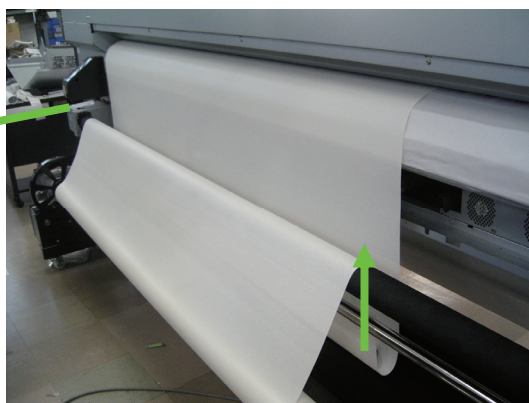
参考

幅広メディアの場合、
用紙端まで一方向にカットするのでなく、
中間付近までカットしたら、反対側から
カッターを入れ、カットすると、
メディアがずれにくくなります。

9. 巻き取りスイッチ（黒）を押して、メディアを巻き取ります。

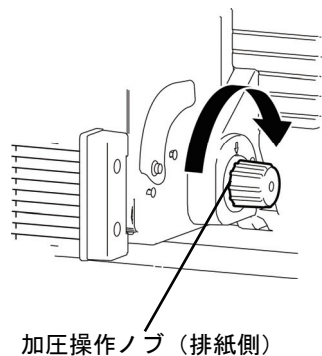
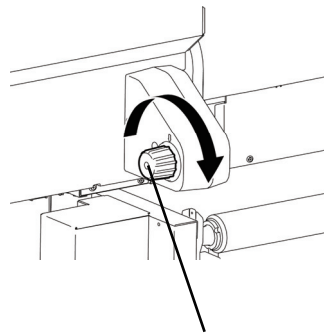
10. メッシュ印刷用インクトレイ上のメディアを取り除きます。

奥側のエッジガード溝にカッターナイフの刃を入れてメディアをカットしてください。メッシュ印刷用インクトレイ上に残ったメディアを、裏面に着いたインクで周囲を汚さない様に注意しながら、取り除きます。

11. テンションバーの取り外しのため、給紙側送り出しスイッチ（白）を使って、給紙側のメディアたるみを持ち上げます。

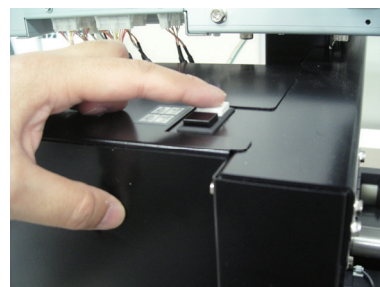
テンションバーが手に取れる位置まできたら、テンションバーを取り外します。

12. さらに、スイッチを押してたるみを持ち上げつつ、同時にスクローラを手で回してメディアを巻き取ってください。

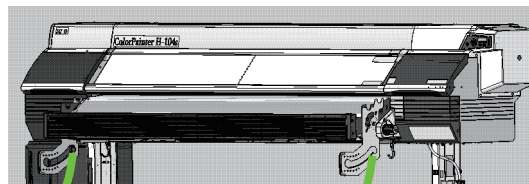
日本語

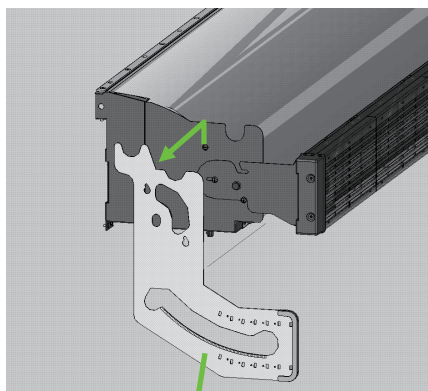
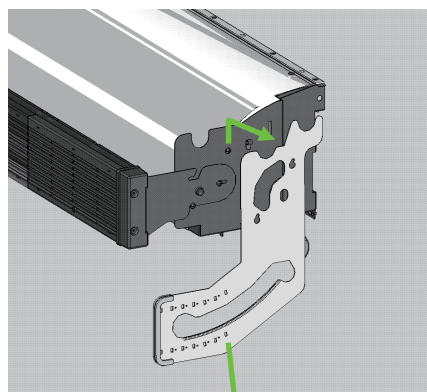
13. 排紙側、または給紙側の加圧操作ノブを時計方向へ回し、加圧ローラを上げます（グリップ解除）。

14. 給紙側送り出しスイッチ（白）を使って、引き剥がしローラを回転させせつつ、手でスクローラを回して、メディアを巻き取ってください。

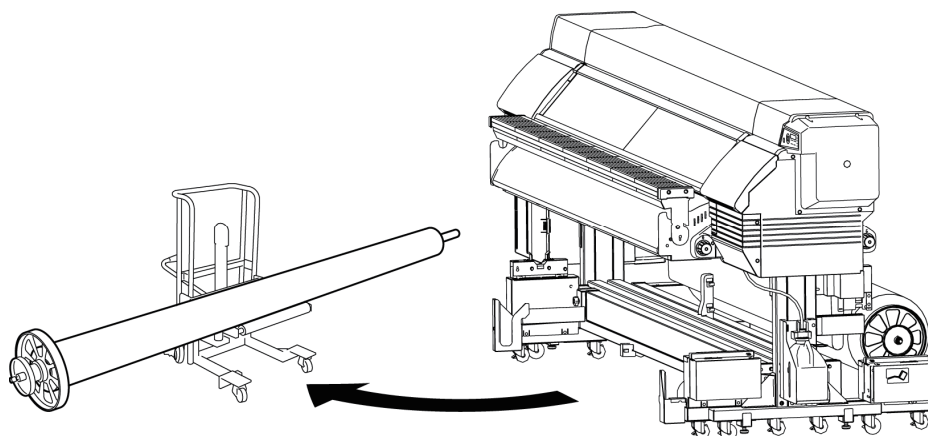
注意

引き剥がしローラを手で無理に回さないでください。モータが故障します。

メディアが引き剥がしローラに貼りついている場合でも、はがす際に引き剥がしローラが回らないようご注意ください。

15. 印刷済みメディアを取り外します。

(1) メッシュテンションバーを取り付けた場合には、それを取り外します。

メッシュテンションバー

(2) 左右のメッシュテンショナーブラケットを上方向へスライドさせて取り外します。

メッシュテンショナーブラケット

メッシュテンショナーブラケット

(3) 巻き取った印刷済みメディアを取り外します。

■ メッシュ印刷キットの取り外し

メッシュ印刷キットの取り外しは、取り付けと逆の順番で行ってください。

注意

- 各部材には多くのインクが付着しています。取り外すときは汚れないように手袋などを着用し、プリンタ本体、服、および室内にこぼさないよう十分にご注意ください。
- 取り外し後、再使用する部品については、十分清掃を行ってください。
- 防護バーに取り付けたコルゲート管は特に取り外す必要はありません。ただし長期間使用しない場合は品質保護のため、取り外しておくことを推奨します。

1. 防護バーを取り外す（取り付けた場合）。
2. メッシュテンションバーを取り外す（取り付けた場合）。
3. メッシュテンショナーブラケットを取り外す。
4. メッシュ印刷用メディアエッジガードを取り外す。
5. メッシュ印刷用吸収シートを取り外す。
6. メッシュ印刷用スピットケースとメッシュ印刷用吸収スポンジを取り外す。
7. メッシュ印刷用インクトレイ固定アダプタを取り外す。
8. メッシュ印刷用インクトレイを取り外す。
9. 元々プリンタに装着されていたエッジガードとエッジガードストッパーを取り付ける。
10. スピットユニットに、新しいホルダー（NET-SPONGE）を取り付ける。
11. 防護バーを元の取り付け位置に戻す。

Introduction

IP7-011 Mesh Printing Kit User's Guide describes the procedures with the optional mesh printing kit to:

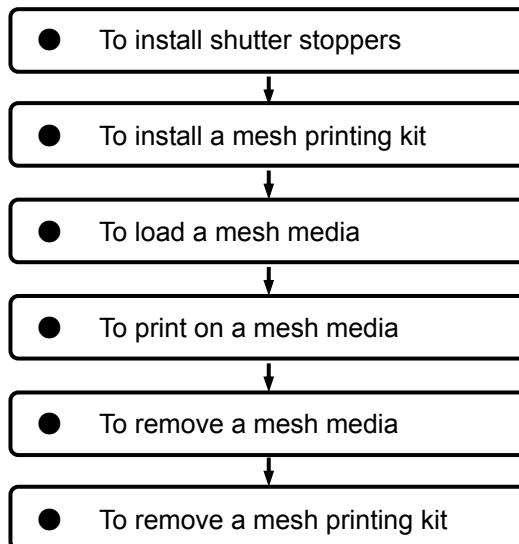
- Print on the mesh media without a liner.
- Install on and remove from the printer.

Note that a mesh media with liner does not require the mesh printing kit or this User's Guide.

Notes

- To print on a mesh banner media, purchase an optional mesh printing kit explained at this User's Guide. The print operation without mesh printing kit will smear the platen and the media's rear side, as the ink passes through the mesh banner's mesh part.
- The following media often causes print errors such as print head's damage by media bubble, skew, and winding deviation:
  - Thin and flexible banner including mesh banner media, sold for protection at architectural finish.

  When printing on such a media, read this User's Guide carefully and fully understand that the print errors above often occur.
- As the mesh printing kit installed on the printer affects the margin in the horizontal direction, the software RIP's automatic layout function does not operate correctly. Adjust the print start position by directly entering the horizontal offset with RIP.

The User's Guide describes the procedures in the orders below.

* Shutter stoppers are required depending on the printer's condition

ENGLISH

■ Components delivered with the package

The following components are delivered in a mesh printing kit package. Check that all the components below are delivered. If any item is missing or damaged, contact your dealer from whom you purchased or the nearest service depot.

Mesh print ink tray
<1 pc.>

Mesh print tension bar
Large: 1 pc.
Medium: 1 pc.
Small: 1 pc.

Mesh print edge guard
<2 pcs>

Mesh print ink tray fixing adapter
<6 pcs.>

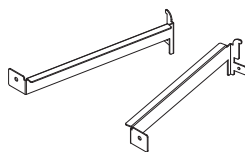
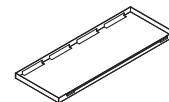
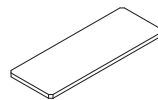
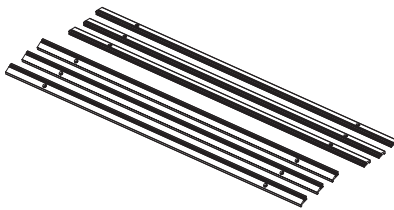
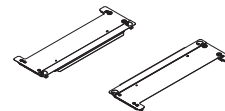
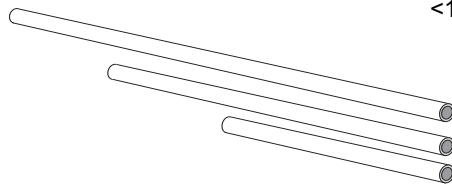
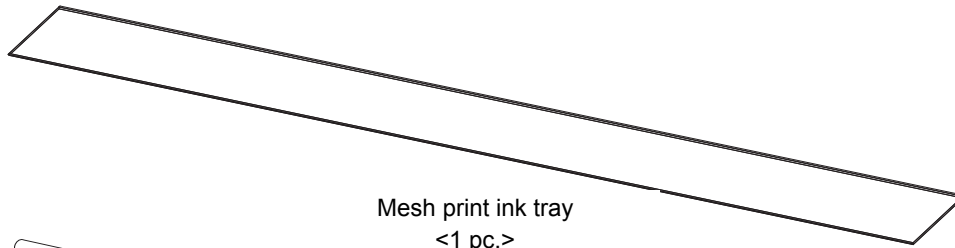
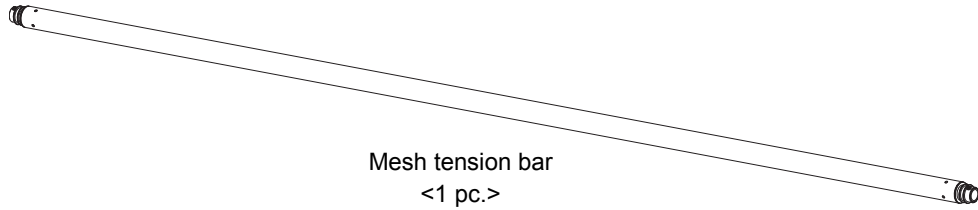
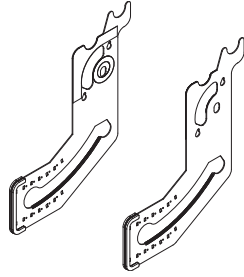
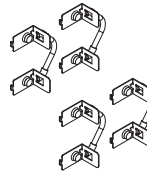
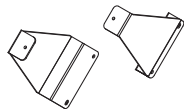
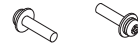
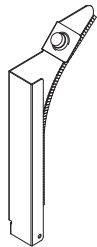
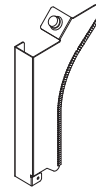
Bind machine screw
(To install mesh print ink tray fixing adapter)
<12 pcs.>

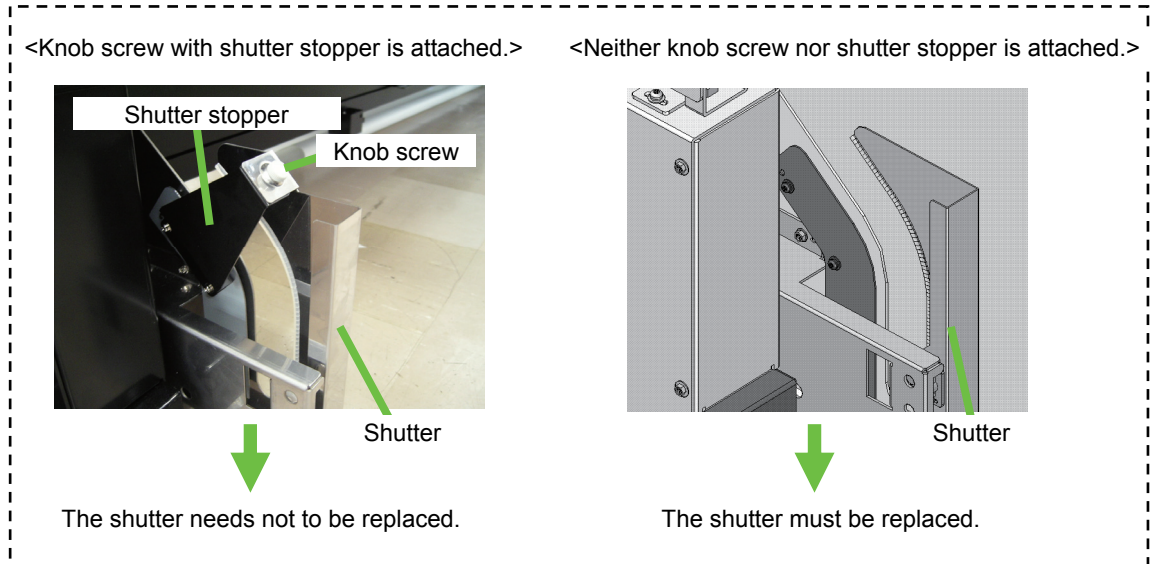
Mesh print absorbent sheet

Mesh print absorbent sponge

Mesh print spittoon case

Hook adapter
<2 pcs.>

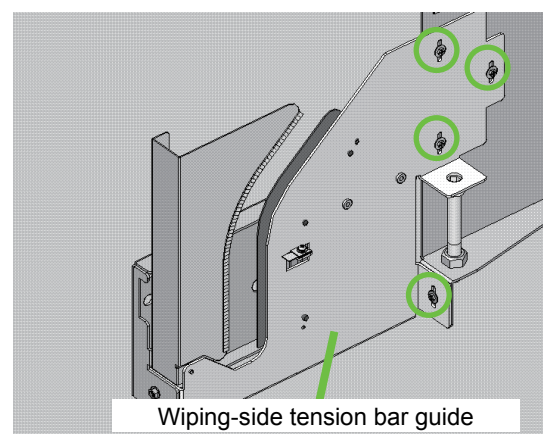
Colgate tube<1 pc.>

Mesh tension bar
<1 pc.>
Mesh tensioner bracket
<1 pc.>
Tension adjustment spring
High tension: 1 pc.
Low tension: 1 pc.
Media supply flange, tapped
<2PCS>
Media supply flange/fixing ring
<2 PCS each>
Shutter stopper
<2 pcs.>
M4x18 Sems screw
(To replace shutter)
<4 pcs.>
Shutter (RACK-R)
<1 pc.>
Shutter (RACK-L)
<1 pc.>

■ To install shutter stoppers

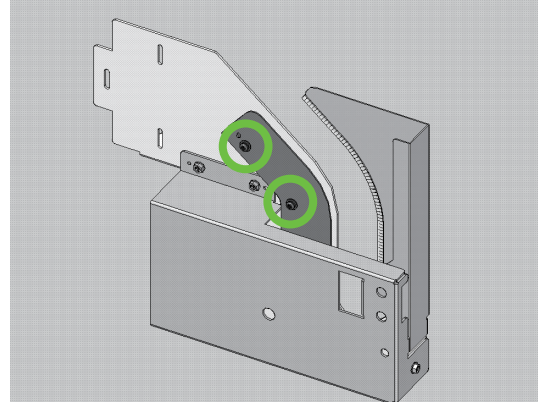
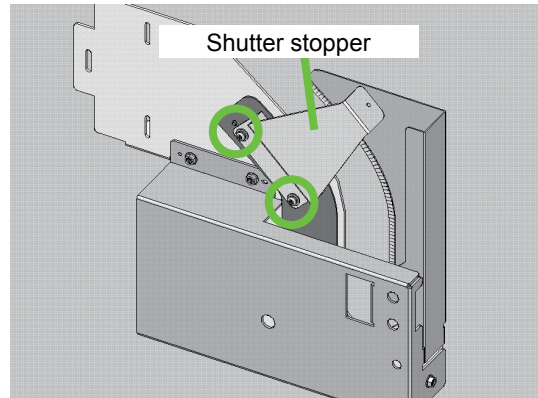
At the tension bar guide part, check if a knob screw is attached to the tension bar or not.

If the tension bar does not contain the knob screw, fix the shutter stopper with the following procedure. Then replace the shutter with a new one supplied with the mesh printing kit.

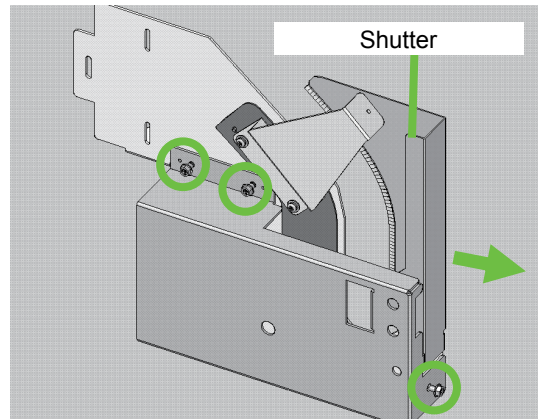
Notes

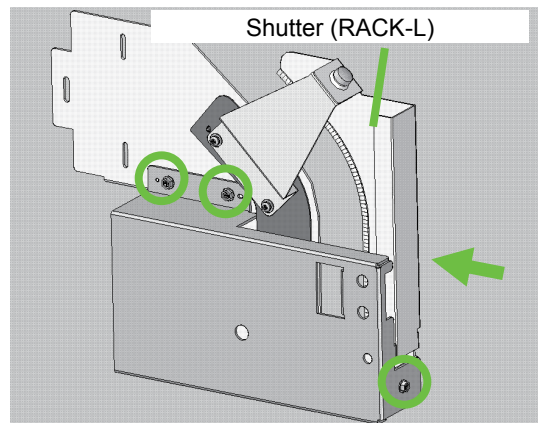
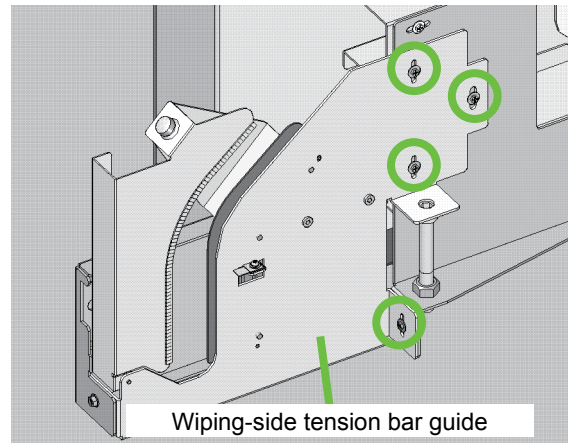
- The print operation without shutter stopper fixed may affect the tension bar gear's engagement.
- The parts including shutter stopper fixed to install mesh printing kit need not to be removed even if the mesh printing kit is not applied.

◆ Procedure to fix shutter stopper at wiping-side tension bar guide

1. Remove the wiping-side tension bar guide with four screws.

2. Remove the two screws shown in the right figure.

> **Note**
>
> Scrap the two screws removed at this step, as they are not necessary any more.

3. To the positions where the two screws were removed at the previous step, fix the shutter stopper with the two M4x18 Sems screws supplied in the mesh printing kit's package.

4. Loosen the three screws shown in the right figure, and remove the shutter.

> **Note**
>
> Loosen the screws to the extent the shutter's movable part is removed.

5. Replace the shutter with the shutter (RACK-L) supplied in the mesh printing kit package. Then tighten the screws loosened at the previous step.

ENGLISH

6. Fix the wiping-side tension bar guide to the original position with the four screws removed at the step 1.

◆ Procedure to fix shutter stopper at capping-side tension bar guide

Fix the capping-side tension bar guide's shutter stopper with the same procedure as described for the wiping-side tension bar guide. Then replace the current shutter with the shutter (RACK-R) supplied in the mesh printing kit package.

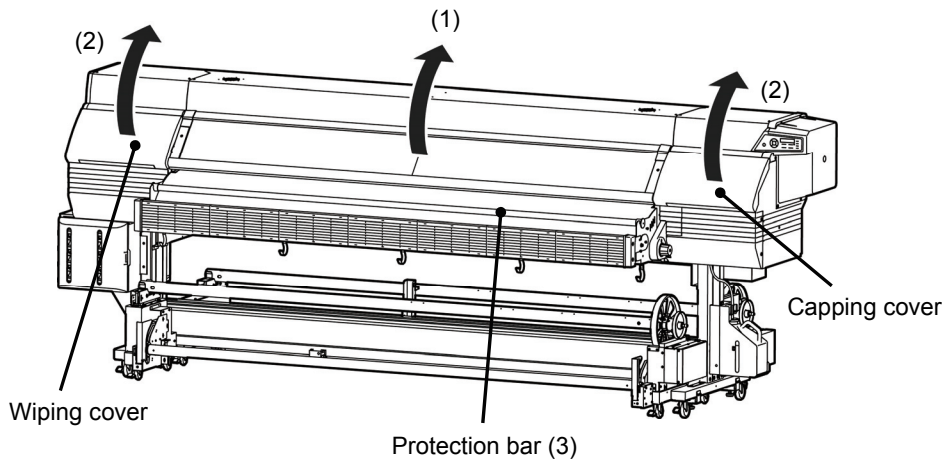
To install a mesh printing kit

Install the mesh printing kit with the procedure below.

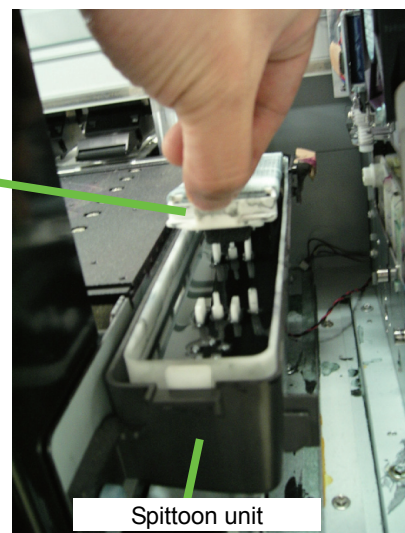
Note

If the shutter stoppers are not fixed to the printer, be sure to fix them before starting the procedure below. For details, see "To install shutter stoppers."

1. Turn OFF the printer.

2. Open the front cover (1), and then open the capping cover and wiping cover (2). Also remove the protection bar (3).

3. With the gloves on, remove the holder (NET-SPONGE) from the spittoon unit.

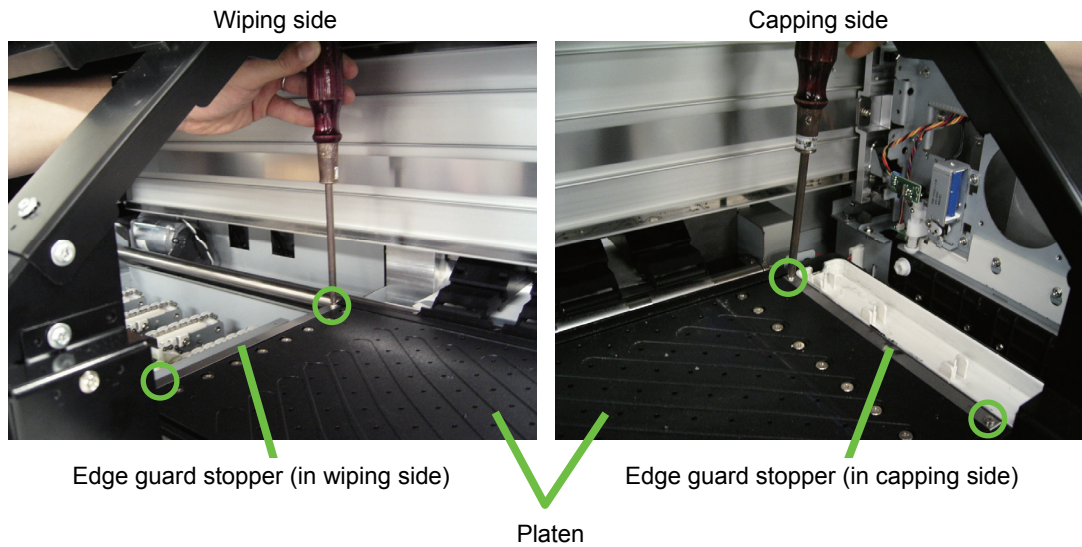
Holder (NET-SPONGE)

ENGLISH

4. Remove the two edge guard stoppers at the platen's right and left sides (with two screws for each stopper).

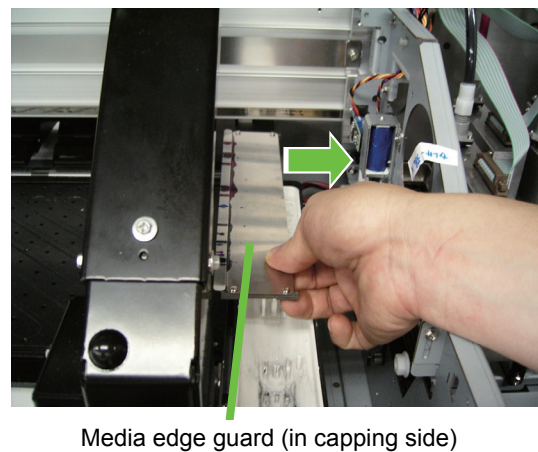
Wiping side

Capping side

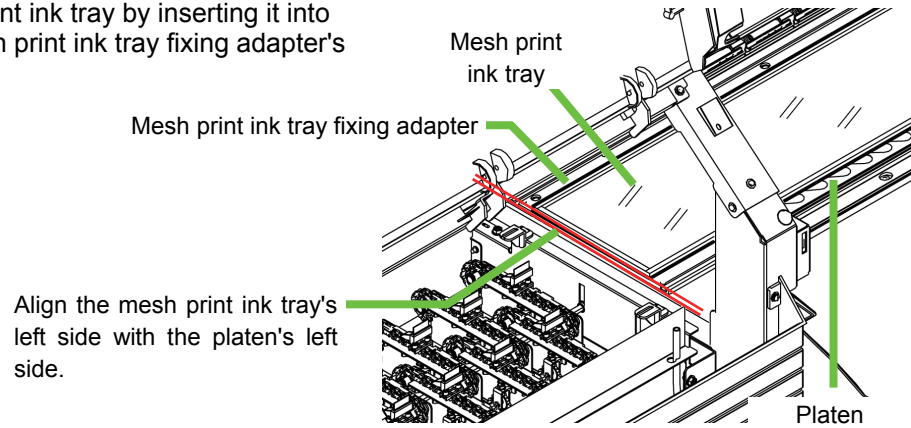
Edge guard stopper (in wiping side)

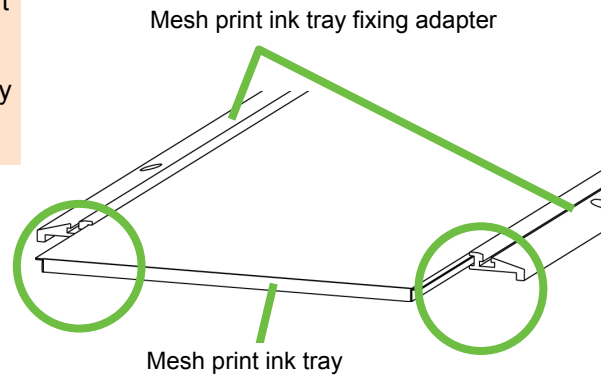
Edge guard stopper (in capping side)

Platen

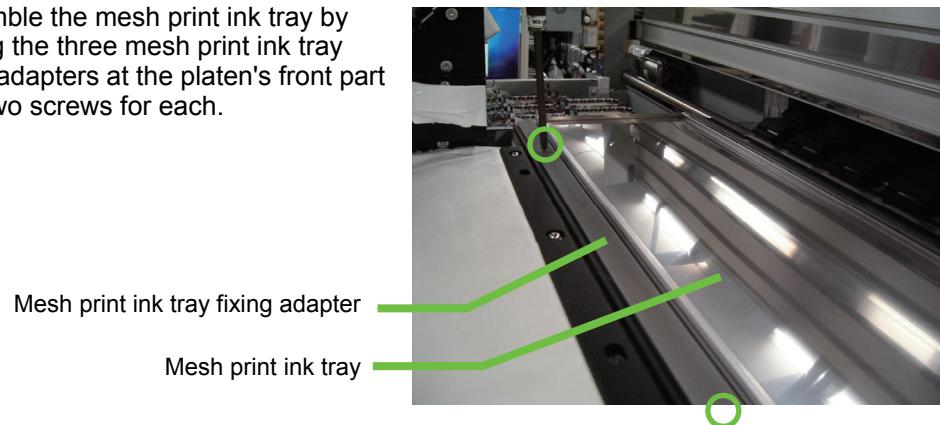
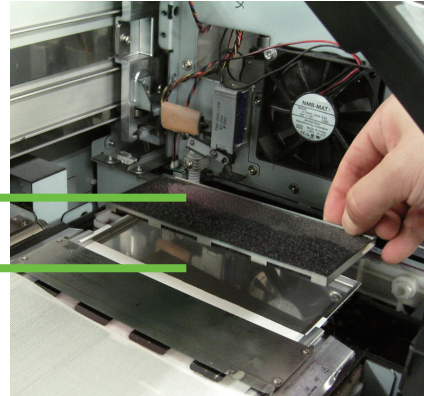
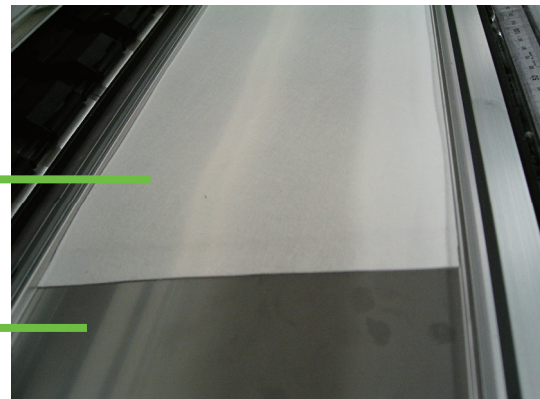
5. Slide the two media edge guards on the platen, and remove them from the platen.

Media edge guard (in capping side)

6. Set the three of the six mesh print adapters at the back of the platen (with two screws for each).

Mesh print ink tray fixing adapter

7. Align the mesh print ink tray's left side with the platen's left side. Then fix the mesh print ink tray by inserting it into the mesh print ink tray fixing adapter's groove.

Note

Set the mesh print ink tray by inserting it securely into the mesh print adapter's front side groove and rear side groove. Then confirm that the mesh print ink tray was placed flat and that no backlash is found with the mesh print ink tray.

8. Assemble the mesh print ink tray by setting the three mesh print ink tray fixing adapters at the platen's front part with two screws for each.

ENGLISH

9. Fix the mesh print spittoon case and mesh print absorbent sponge at the mesh print ink tray's right edge.

10. Cut the mesh print absorbent sheet so that it is 4-5cm longer than the printed media. Then attach the double-sided adhesive tape on the cut sheet's both edges, and apply it to the mesh print ink tray.
For details, refer to the following “Instruction on mesh print absorbent sheet.”

◆ Instruction on mesh print absorbent sheet

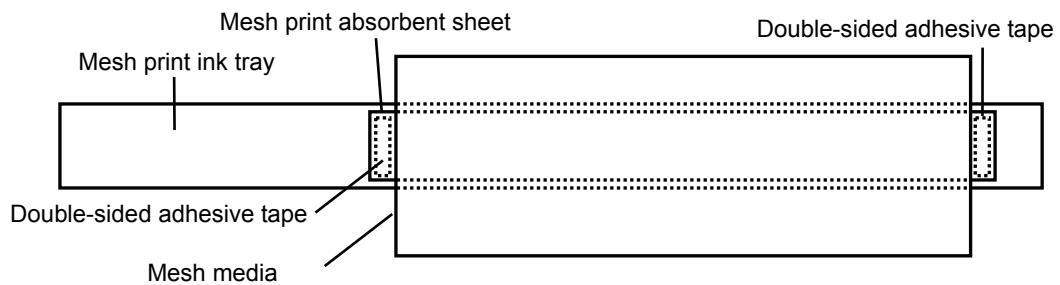
The mesh print absorbent sheet absorbs the waste ink passing through the mesh media, and simplifies the waste ink disposal after the print.

Apply the mesh print absorbent sheet following the instructions below.

Note

The print distance applied to a sheet of mesh print absorbent sheet depends on the printed mesh media type and the printed image. So check the absorbent sheet visually and replace it before the sheet absorbs the ink maximally and the waste ink spills out to the mesh print ink tray. If the sheet is not replaced, the printer and the floor may be smeared, because the mesh print ink tray's waste ink spills out when:

- The mesh print absorbent sheet is replaced.
- The mesh print ink tray is removed from the printer.

(1) Cut the mesh print absorbent sheet so that it is 4-5cm longer than the printed media.

Note

Do not apply the double-sided adhesive tape to the position where the mesh print absorbent sheet overlaps with the printed media, or the ink adhering to the tape decreases the tape's cohesion. As a result, the mesh print absorbent sheet may be removed or deformed, and the media may be smeared.

(2) Attach the double-sided adhesive tape on the cut sheet's right and left edges so that the mesh print absorbent sheet fits the mesh print ink tray securely.

● Printing with several mesh print absorbent sheets

Application of the several mesh print absorbent sheets increases the ink absorbable amount and the printable distance, and simplifies the waste ink disposal. However, an excessively overlapped mesh print absorbent sheets decrease the distance between the absorbent sheets and the media's rear face. In such a case media's rear face may be smeared at media slack or wrinkle. So adjust the mesh print absorbent sheets' quantity to be applied depending on the media type and condition and the printed image.

●Printing on the heavyweight mesh media

With the heavyweight mesh media, generally the aperture ratio is low and the small amount of ink runs through the media. So the mesh print absorbent sheet is longer-lasting. However, media slack and wrinkle may often occur. To prevent the smear on the media's rear side, it is recommended to apply only one mesh print absorbent sheet at a time.

●Printing on the lightweight mesh media

With the lightweight mesh media, generally the aperture ratio is high and the large amount of ink runs through the media. As the media slack will hardly occur, it is possible to apply several mesh print absorbent sheets at a time.

●Increasing print distance without replacing mesh print absorbent sheet (example)

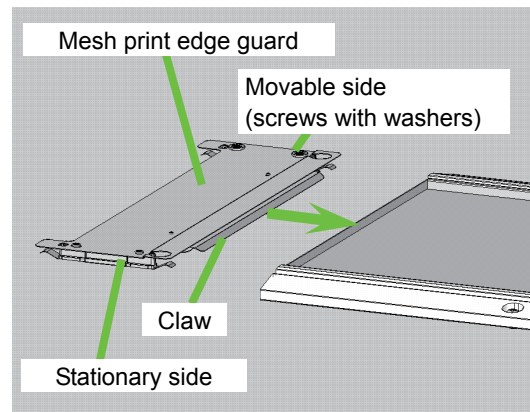
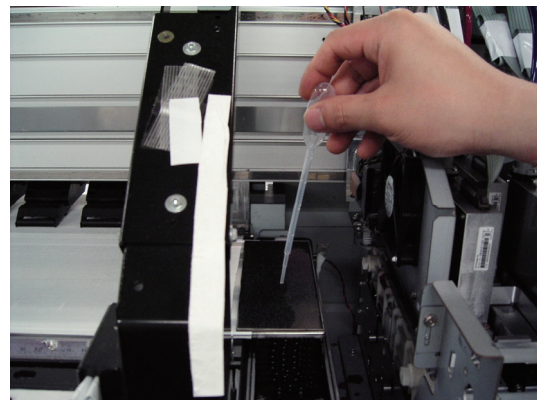
Until the print distance exceeds 20m, for example, on the condition below:

- Heavyweight mesh media with approx. 30% aperture ratio
- Full-page painting with two colors overlapped
- 8-color draft mode

a single mesh print absorbent sheet retains the waste ink. Then the wasted ink will slowly drains from the mesh print ink tray when the ink tray is tilted.
By applying the two or three mesh print absorbent sheets at a time, the print distance to retain the waste ink is increased up to 40m or 60m, in proportion to the absorbent sheet quantity.

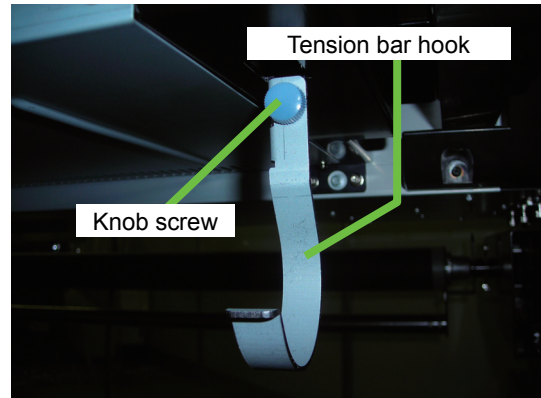
11. Insert the two mesh print edge guard into the mesh print ink tray fixing adapter's groove so that the two edge guards' claws face each other (Mesh print edge guard's movable side to be set for the feed-unit side).

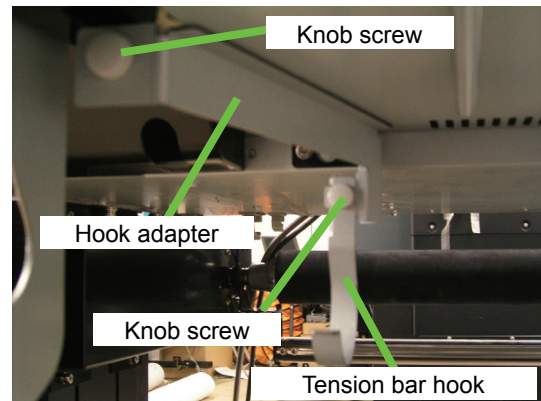
Note

Confirm that the two mesh print edge guards were inserted in the correct direction so that the mesh media is tucked with them.

12. With a dropper apply the spittoon absorber liquid to the mesh print absorber sponge to the extent that the sponge is completely wet.

13. Fix the hook adapter, and change the tension bar hook's fixing position.

(1) By loosening the tension bar hook's knob screw at the front paper guide's bottom part, remove the all five tension bar hooks.

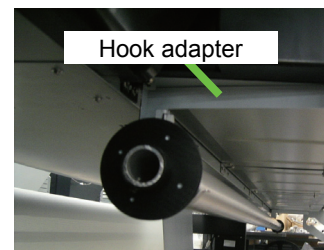
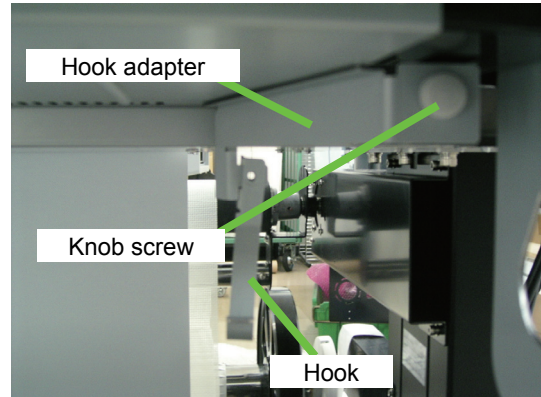
Note

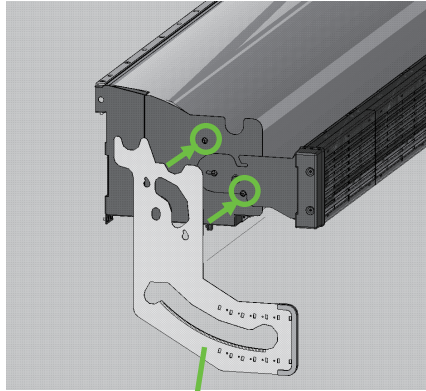
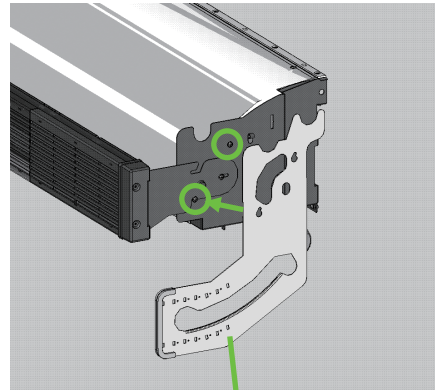
Keep the hook and knob screw as they are used at the following step.

(2) Fix the tension bar hook and hook adapter at the leftmost tension bar hook fixing position.

Hook the hook adapter's claw on the hole at the rear part, and fix it with the knob screw. Then fix a hook to the hook adapter with the knob screw.

(3) Fix the hook adapter at the rightmost tension bar hook fixing position in the same procedure as described in the previous step.

Note

Use the hooks and knob screws removed at the step (1). Keep the three leftover hooks and knob screws at your site.

<The photo shows the hook adapter with the tension bar attached.>

14. Fix the mesh tensioner bracket to the media dryer fan's fixing screw in right and left each.

As the figure shows, apply the mesh tensioner bracket to the positions of the screws originally fixed to the printer. Then fix the bracket by sliding downward.

Mesh tensioner bracket

Mesh tensioner bracket

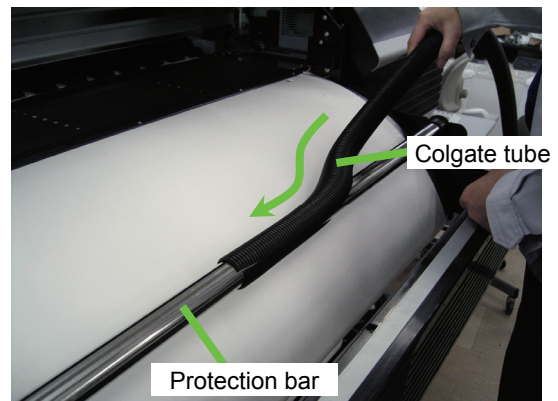
Note

Operate the printer carefully so as not to hit yourself with the mesh tensioner bracket, as the brackets protrude in the direction of the printer's front.

15. Place the protection bar on the mesh tensioner bracket's recessed parts.

16. Cover the protection bar with the colgate tube.

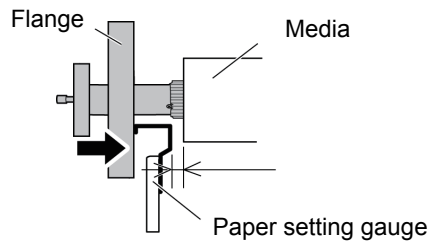
Set the colgate tube to the protection bar placed at the previous step, by opening the colgate tube's break and covering the protection bar.

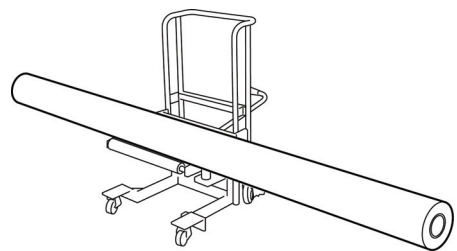
17. Remove the protection bar covered with the colgate tube.

Note

As explained in the following steps, the protection bar covered with the colgate tube may or may not be used depending on the mesh media type to be loaded.

18. Closing the wipe cover and cap cover, complete the procedure to install a mesh printing kit.

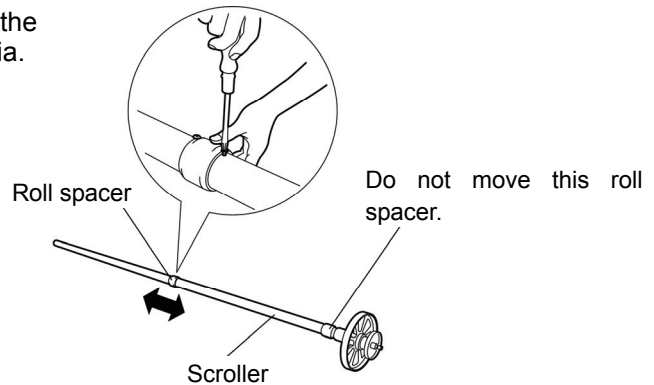
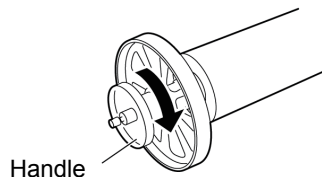
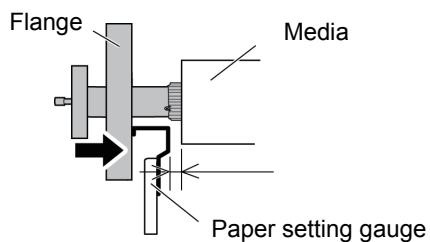
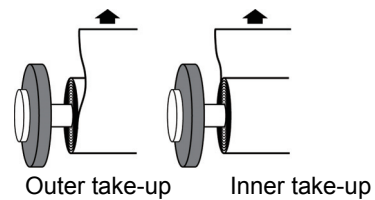
■ To load a mesh media

After installing the mesh printing kit, load a mesh media on the scroller with the procedure below. The loading procedure is the same as of to load the usual roll media.
However, the distance between the media edge and the flange must be secured more widely than with the usual banner media loaded. Secure the distance 10 to 20mm wider, that is, almost your finger's diameter.

With mesh media loaded, relatively larger skew or winding deviation will appear than with the usual banner media loaded. For example, if the winding deviation proceeds to the home position side, the media edge touches the edge guard, and the media may be folded or wrinkled. To prevent such a case, secure the distance between the media edge and the flange more widely than with the usual media loaded.

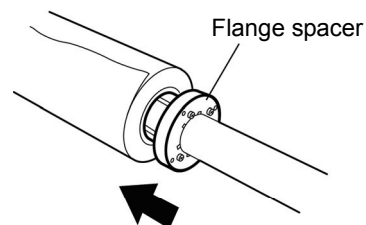
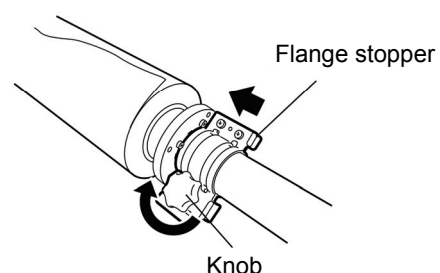
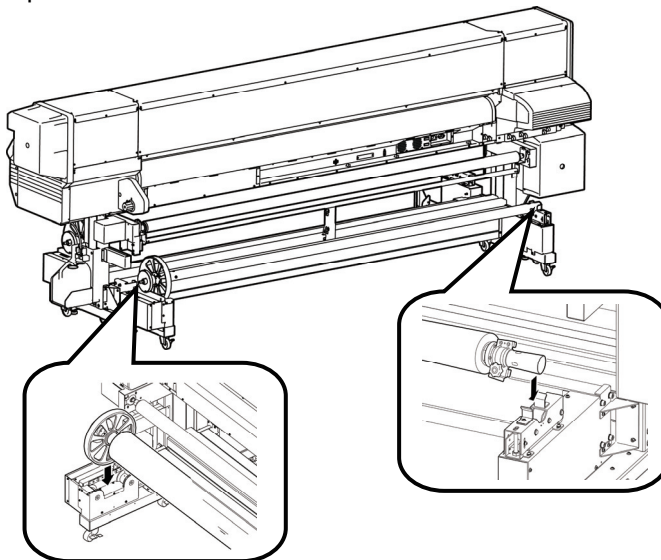
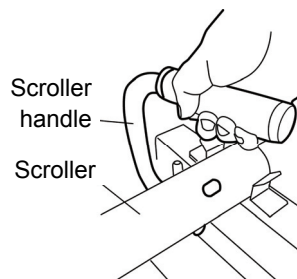
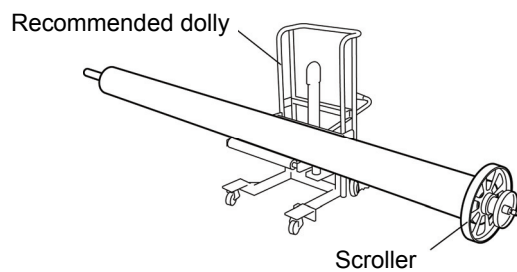
1. Put the media on the table.

If you want to use a dolly, contact us. We have a recommend product.

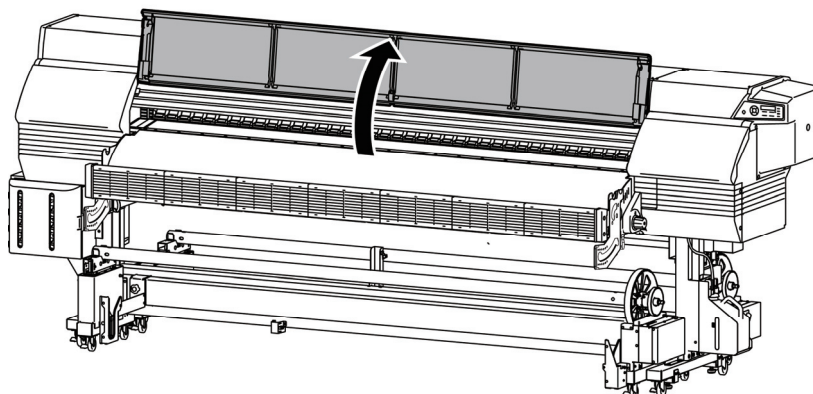
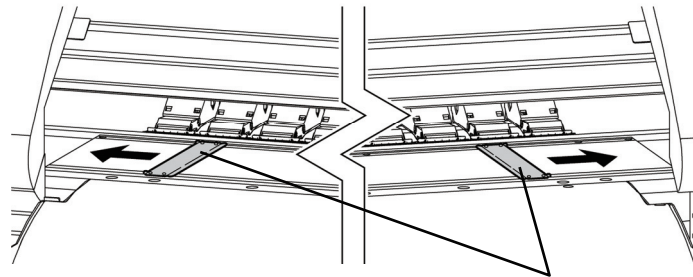
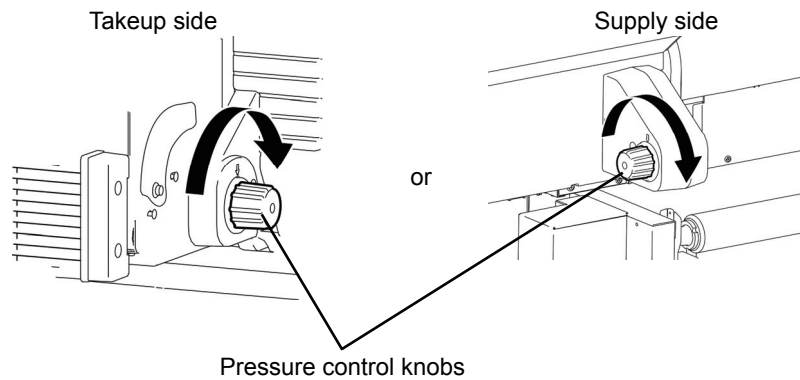
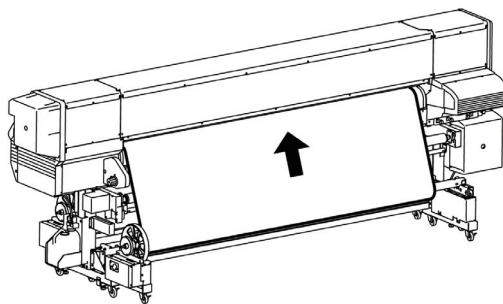
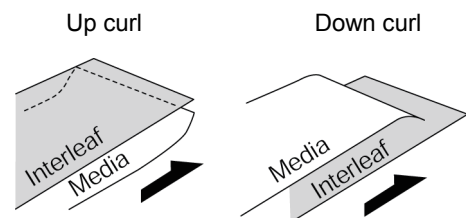
ENGLISH

2. Adjust the roll spacer position according to the media width.

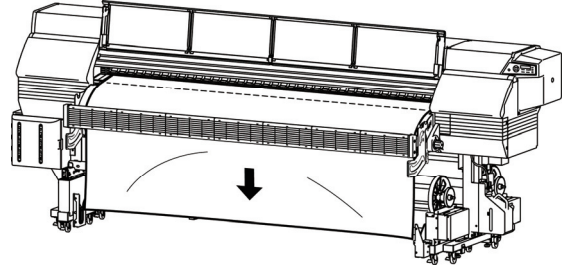
Remove the two screws and move the roll spacer to the center of the media. There are three screwing positions.

3. Insert the scroller into the paper tube, determine the distance between the media edge and the flange, and then secure the main scroller.

(1) Check the media winding direction, and then insert the scroller into the paper tube.

(2) Determine the distance between the media edge and the flange with the paper setting gauge.
(3) Rotate the handle clockwise as far as it will go, and then secure the scroller at the point.

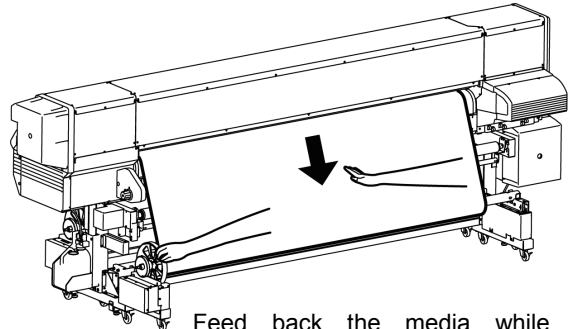
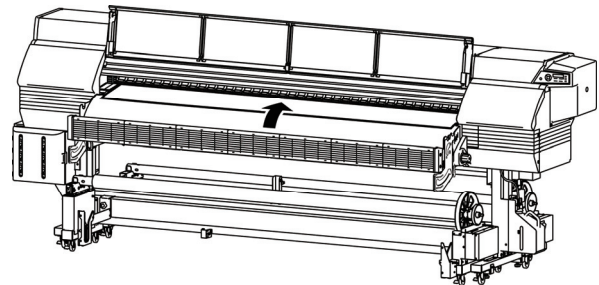
4. Attach the flange spacer and the flange stopper with the flange stopper matching with the claw of the flange spacer.

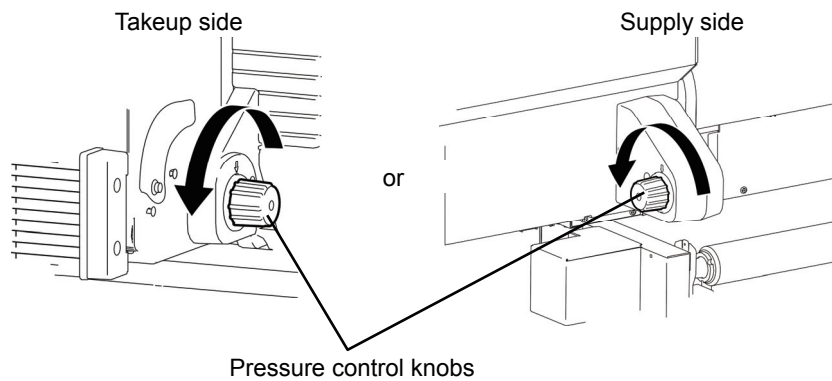
(1) The flange spacer has teeth. Push it as far as it will go.

(2) Match the flange stopper with the claw of the flange spacer, and then tighten the knob to secure the flange spacer and the flange stopper.

5. Attach the scroller by fifi tting it with the roller groove of the printer.

- To set the scroller alone: Use a recommended dolly.
- To set the scroller manually by two persons: Use the supplied scroller handle.

6. Open the front cover.

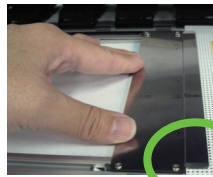
ENGLISH

7. Move the mesh print edge guards to each side so that they are not under the media.

8. Rotate the pressure control knob clockwise to raise the pressure roller.

9. Insert the media end into the paper feeder while smoothing out the media by hand to prevent wrinkles.

If it is hard to insert the media end into the paper feeder due to a curl of the media, interpose an interleaf and insert the media end under the interleaf as shown in the left figure.

10. Feed the media until the media end almost reaches the floor.

In this state, smooth out the media toward the both sides on the platen to make the media center tense.

> **Note**
>
> If the media is set with a distortion or wrinkles, this may cause a media jam or skew.

11. Feed back the media to the top of the front paper guide.

> **Note**
>
> This step is important to set the media properly.

Feed back the media while pressing the center of the media gently at the supply side.

12. Rotate the pressure control knob counterclockwise to lower the pressure roller.

13. Set the mesh print edge guards. After confirming that the media is tucked by the edge guards securely, press the key.

Note that the mesh media must be inserted into the mesh print edge guards. At setting the edge guards, confirm that the mesh media is inserted securely.

14. Close the front cover.

15. Select roll media.
With the operation panel, select ROLL with ⌃ or ⌄ key, and press the key.

SELECT MEDIA
ROLL/SHEET:ROLL

Note

For the mesh media printing, only the roll mesh media is applicable. Note that cut-sheet media is not accepted.

16. Select the media type.
Press the ⌄ key several times.
When SELECT MEDIA is displayed, press the OK key.

With this operation, the media registration menu starts.

- The mesh media is registered with the same operation as for the MEDIA REG MENU. Refer to the instruction written at MEDIA REG MENU
- The mesh media must be registered only once. Once it is registered, from the next operation only select it from the registered media types.

◆ Parameters to register mesh media

The following parameters are specified to register mesh media. Set up the other parameters depending on the media condition and printed image.

- USE EDGE GUARD : YES*1 （recommended）
  *1 : When set to YES, the right and left margins are decreased by 10mm each, and when set to NO, they are decreased by 5mm each.
- SUCTION FAN LEVEL : OFF (required)
- PRINTHEATER T : ** degree C (recommended)
- PH HEIGHT VAL : +0.8mm (recommended)
- MEDIA BACK MODE : FWD ONLY *2(depending on the situation)
  *2 : Select FWD ONLY to prevent the media wrinkle by the media rewinding operation mainly when a lightweight mesh media is loaded.

Notes

- As the mesh media is not sucked on the platen, media may bubble or wrinkle more frequently. The higher the platen is, the less frequently the print head is scratched by media, and the less clearer the printed image is. Change the setup parameters depending on the media condition and the printed image.
- Be sure to apply the edge guards. As the media feed path on the platen for mesh media is different from the usual path, the media swells upward frequently. So media jam may be caused if the edge guards are not applied. Note that the heavyweight media swells more frequently.
- Be sure to set the suction fan to OFF. If set to ON, an ink mist is sucked in a slight space, and the printer is smeared.
- "** degree C" indicates the print heater to be set to OFF. When the print heater's temperature is increased, the ink on the ink tray dries sooner, and the waste ink disposal is simplified. However, the evaporated ink solvent affects the print head, which may cause nozzle-out during the print.
- Note that the parameters for mesh media are different from for the usual banner media.

With mesh media, it is very difficult to adjust the media advance correction value and bidirectional correction value in a usual procedure. So at first apply the correction values for a usual banner media.
The media advance correction value is also obtained by:
- printing image on a usual banner media with the mesh printing kit
- measuring the printed image's length

<Example >(bidirectional correction value setting)
- When you change the bidirectional correction value, to set the printer's state to actually printing.
- To measure the media length, be sure to measure the media alone.

On the case below:
- Media advance correction value is 101.2%.
- A 1m data was printed.
- The printed image length was 997mm.

the proper media advance correction value is calculated to be 101.5% with the following formula.

$$\frac{101.2 \times 1000}{997} = 101.5$$

ENGLISH

17. After selecting the media type, input the remaining media length.

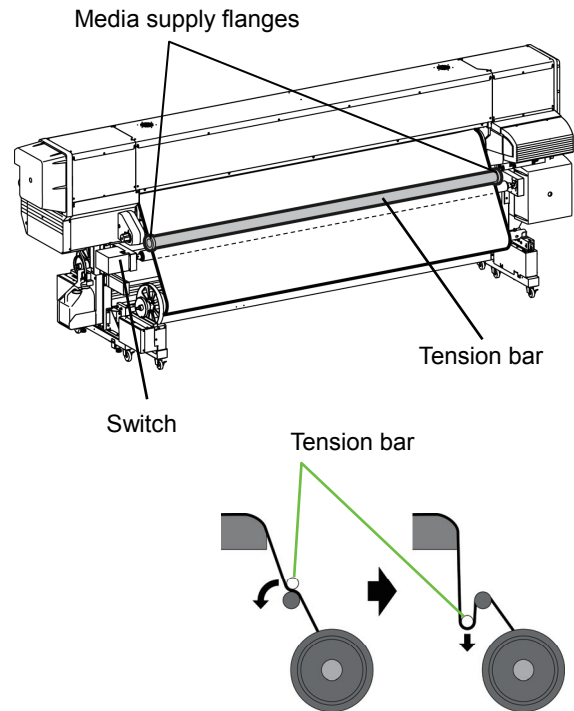
SET REMAINING MEDIA
＊XXXm

Note

After loading the media, confirm that neither bubble nor wrinkle is found with the media on the platen.

18. Set the tension bar.

(a) Attach the media supply flanges to the tensionbar's both sides.

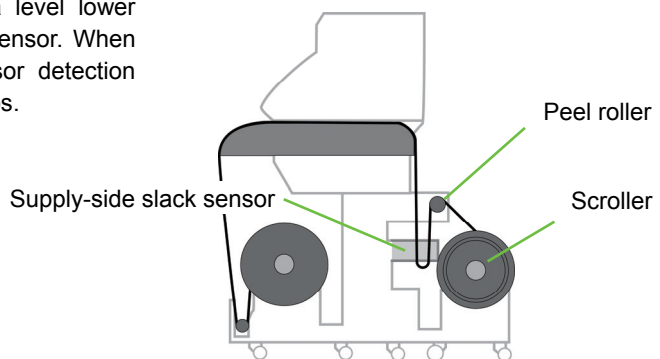
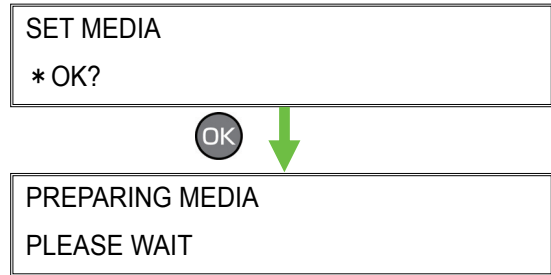
(b) Press the tension bar to the peel roller's upper part. Then create a slack between the platen and the peel roller, by carrying the tension bar to the rear side of the peel roller with a supply-side feed switch (black).

Notes

- Regardless with the media type, all of the mesh media must be wound in TENSION mode.
- Adjust the tension bar length corresponding to the mesh media width.

Slacken off the media to a level lower than the supply-side slack sensor. When the slack reaches the sensor detection area, the operation panel blips.

Peel roller

Supply-side slack sensor

Scroller

19. Check the media setting.

20. Press the OK key.

By pressing the OK key, the carriage starts operating.
So pull the media's front edge.

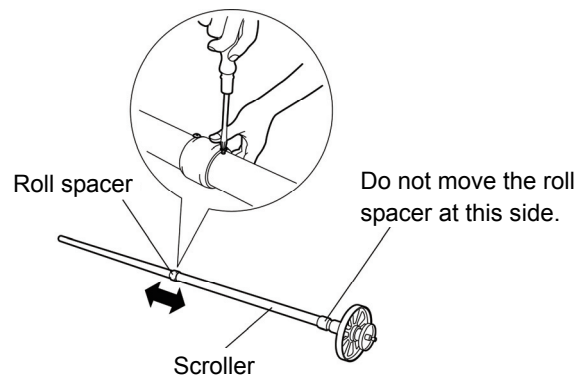
When setting the mesh media, pull the media's front edge to extend the media and to prevent the media bubble. Or the media surface may scratch the print head, because:

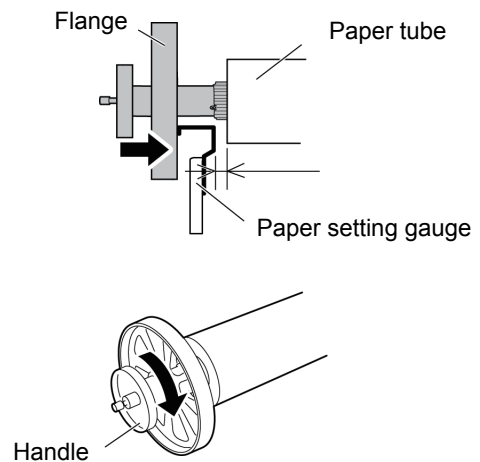
- At mesh media printing, media suction function on the platen must be turned OFF.
- Though the media must be wound in TENSION mode, at media loading on the printer no tension is applied to the media until the media is loaded to the take-up reel unit. As a result the media may bubble on the platen.
- Though the head position can be set to high during the print, at media loading on the printer the head position is lowered to the standard position.

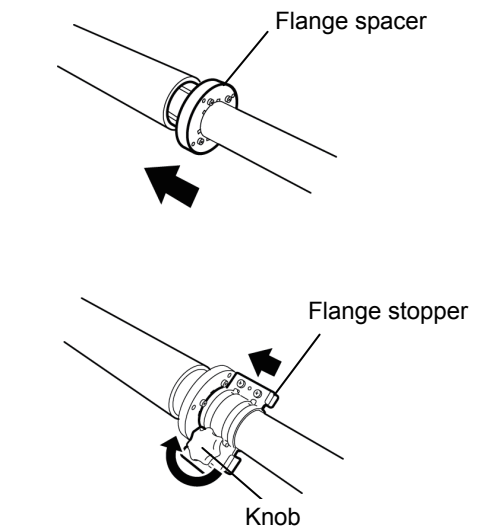
21. Set the take-up paper tube to the take-up reel unit.

First adjust the roll spacer's position corresponding to the media width so that the roll spacer would be at the media center.

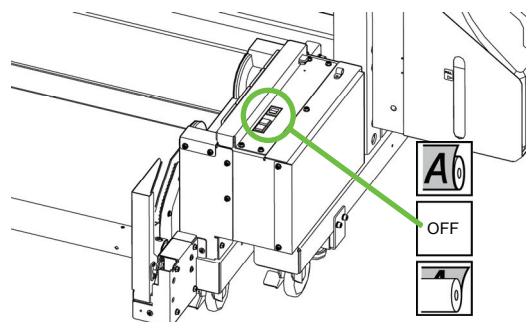
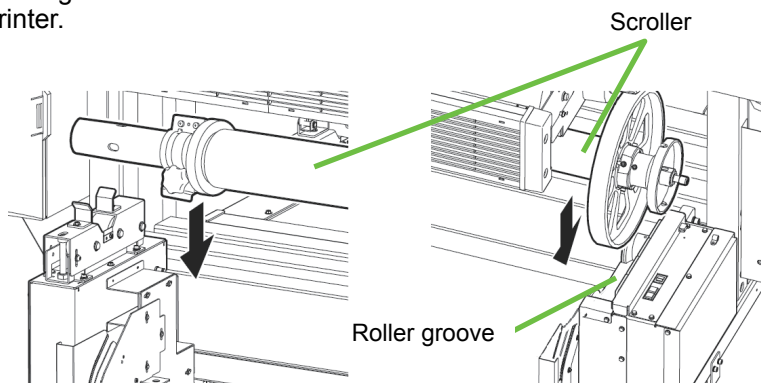
Note

At setting the media to the take-up reel unit, adjust the take-up paper tube position corresponding to the media position, as the media position is moved for 10-20mm from the position with a usual media.

22. Set another paper tube to the scroller.

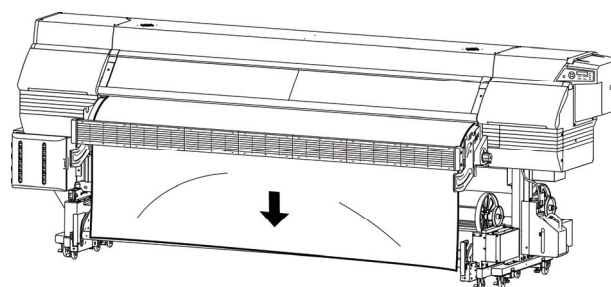
With a paper setting gauge, adjust the distance between the paper tube's edge and the flange. Then fix it by rotating the handle.

23. Fix the flange spacer with the flange stopper.

Push the flange spacer until it no longer moves. Then fasten the knob corresponding to the claw's position.

24. Be sure to set the take-up direction switch to OFF.

Caution

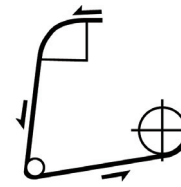
If the take-up direction switch is not set to OFF, the scroller is not fixed and your finger may be caught in the printer.

25. Attach the scroller by fitting it with the roller groove of the printer.

Note

Hook the tension bar to the tension bar hook beforehand.

26. Feed the media with the FORM FEED MENU on the operation panel to an extent where it can be taken up.

27. Install the drawn media to the paper tube.

(1) Check the take-up direction, remove the slack of the media, and then make sure that the media is not deviated on the supply side and the takeup side.

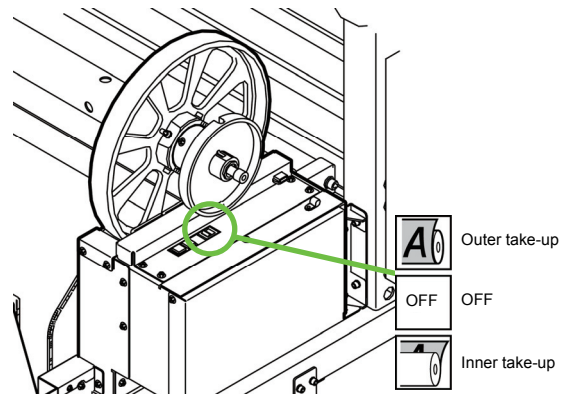
(2) With tape hold the media straight at the center, and then at the rest six positions in the direction from the media center to the media edge.

Inner take-up：
Media is taken up with its print surface comes inside.

Outer take-up：
Media is taken up with its print surface comes outside.

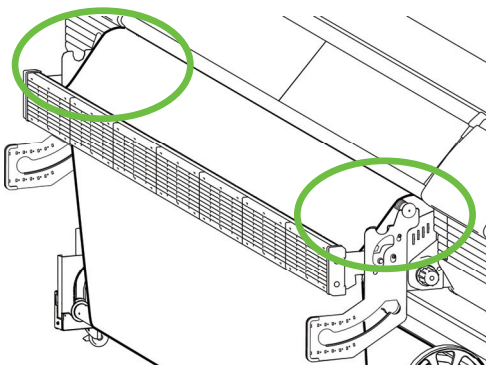
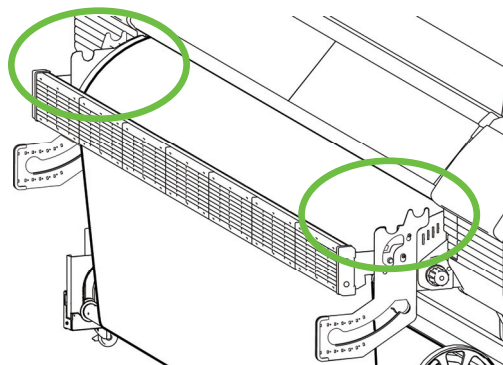
Notes

- Be careful of the tape affixing direction on the takeup side.
- If the media is not installed straight to the paper tube, a skew of media may occur.

ENGLISH

28. Set the take-up direction switch according to the take-up direction.

29. Advance the media with the FORM FEED MENU on the operation panel to wind it around the paper tube by one turn.
Then set the take-up direction switch to OFF.

> **Note**
>
> If the tension bar is attached without winding the media by one turn, the tape will peel off.

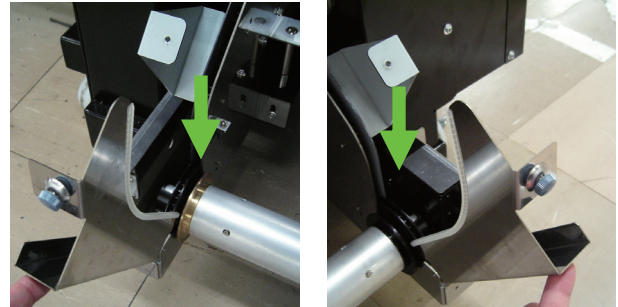
30. Advance the media with the FORM FEED MENU on the operation panel to an extent where a slack can be created.
Be sure to create a suffi cient slack so that the tension bar is placed at the bottom of the tension bar guide.

31. Loosen the tension bar guide's knob screw, and open the cover.

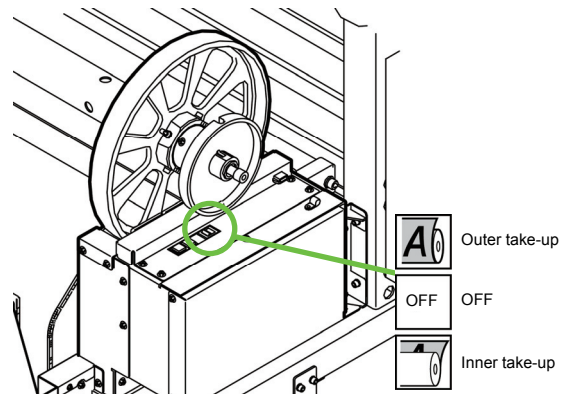
32. Remove the tension bar from the tension bar hook, and place it on the media slack.

Then confirm that the tension bar's both edges are placed at the tension bar guide's bottom.

Note

Ensure that the tension bar's both edges are placed on the tension bar guide's bottom securely. If the tension bar is inclined, a considerable winding deviation may occur.

ENGLISH

33. Close the tension bar guide's cover, and fasten the knob screw.

34. Press the take-up direction switch according to the take-up direction.

Note

If the media slack is secured excessively, the slack may not be wound within the specified time, and the warning is issued, that is, the operation panel's take-up LED goes on.
In such a case, turn OFF the take-up direction switch, and press the take-up direction switch again.

Media's slanting feed and winding deviation occur frequently soon after the media is loaded. Especially the mesh media has a pronounced tendency on it. The media may misalign by nearly 5mm only by setting the media to the take-up reel unit.
In such a case, after setting the media to the take-up reel unit, make the printer recognize the media position again with the following procedure.

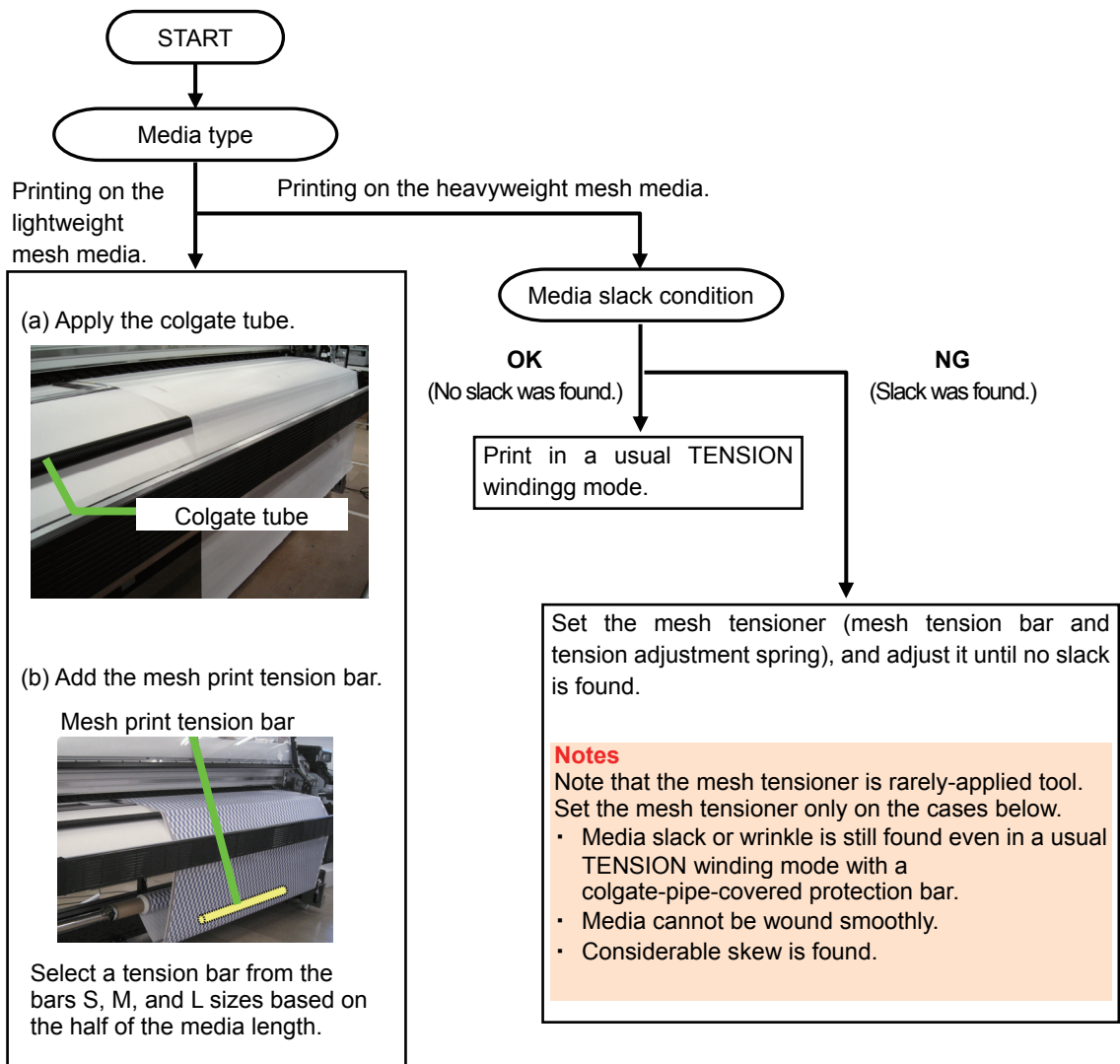
(1) Open the front cover.
(2) With manually pressing the rear paper guide's center to prevent the media misalignment, release the grip force.
(3) After the operation panel bleeps, set the grip force to ON again.
(4) Set the edge guard correctly, and close the front cover.
(5) Check the operation panel displays “CHECK EDGE GUARD,” and press the OK key four times.
(6) The printer starts recognizing the current media position.

35. Visually check the media slack on the platen.

If the media slack is found, adjust the media until no slack is found.

Notes

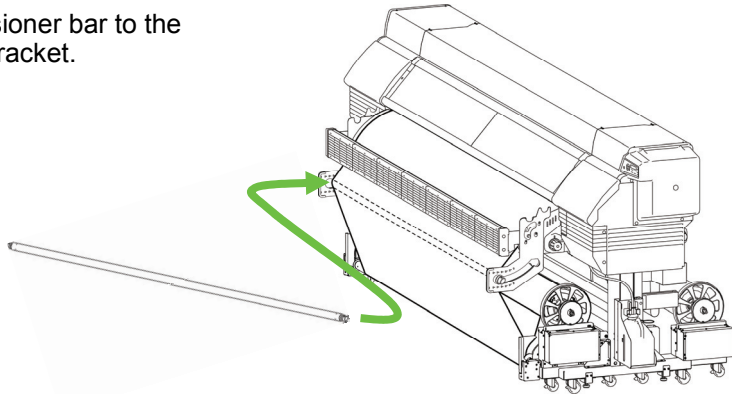
- The operation to check the media slack and to adjust the media is essential to feed media properly.
- When the mesh media is applied, carefully observe the media wrinkle on the platen and adjust the media, as the mesh media often causes winding deviation.

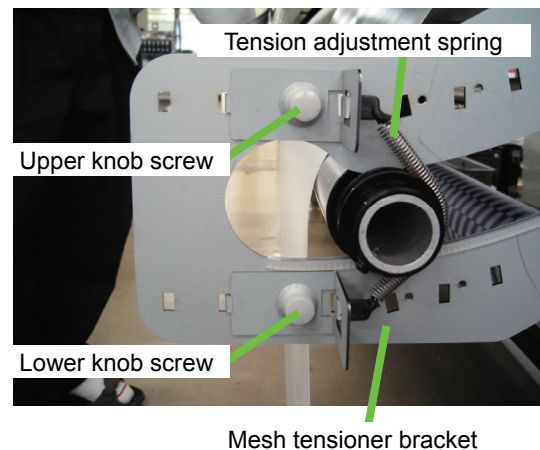
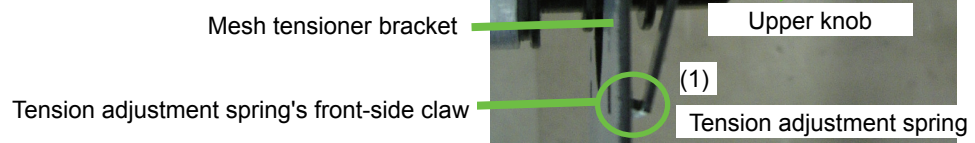
ENGLISH

◆ Procedure to set mesh tensioner

Mesh tensioner collectively means the tension adjustment spring and horizontal tension bar. To prevent the media slack, the mesh tensioner applies the tension in a proper direction to the media.

Note

Note that the mesh tensioner is rarely-applied tool. Set the mesh tensioner with the procedure below only when it is required.

(1) Fix the mesh tensioner bar to the mesh tensioner bracket.

(2) Check the media slack on the platen, and confirm that the slack is found in the right or left part. If it is found in the right part, set the tension adjustment spring to the right mesh tensioner bracket. If found in the left part, set the spring to the left mesh tensioner bracket.

<Setting tension adjustment spring>

(a) Hook the tension adjustment spring's front-side claw on the mesh tensioner bracket's hole.
(b) Insert the tension adjustment spring's rear-side claw into the hole
(c) Fix the tension adjustment spring with the upper knob screw.
(d) Fasten the lower knob screw.

＜Seen from the printer's upper part＞

Note

Solve the media slack by adjusting the tension adjustment spring's tension and position as follows.

- Tension adjustment spring's type (high tension or low tension) and fixing position
- Tension adjustment spring in right side or left side

Adjusting the slack or wrinkles on one side , on the other side when it occurs, move the tension adjustment spring's hook position or set the spring to the ohter side of mesh tensioner bracket.

(3) Advance the media with the FORM FEED MENU on the operation panel, check the media slack on the platen.

Note

Tension adjustment spring's hook positions may vary depending on the media condition (ex.temperature or humidity), each replacing the media, be sure to check the media's slack condition.

ENGLISH

36. Start printing.

■ To print on a mesh media

Start printing with the same operation as with a general roll media.

For the operation, refer to User's Guide.

Notes

- The printable area decreases by 10mm each in right and left, as the mesh print edge guards were mounted.
- At data setting, note that the origin remains at the mesh print edge guard's left edge in the wiping side even if the centering or offset margin was changed,

◆ After printing with mesh tensioner

After printing with mesh tensioner, be sure to cancel the tension with the procedure below.

Note

Be sure to perform the procedure below soon after printing if the mesh tension bar and tension adjustment spring were applied. If not, the mesh tensioner keeps applying tension to the mesh media, and the media may be extended.

1. After printing, release the tension by removing the tension adjustment spring's upper knob screw.

2. Set the mesh tension bar to the home position at the mesh tensioner bracket.

Home position at mesh tensioner bracket

■ To remove a mesh media

When the media is removed from the printer before the mesh print ink tray's waste ink dries, the media may slacken on the mesh print ink tray. In such a case media's rear face may be smeared by touching the waste ink. Therefore the mesh media removal requires the operation to remove the smeared part without smearing the printed face.
Be sure to remove the mesh media with the procedure below.

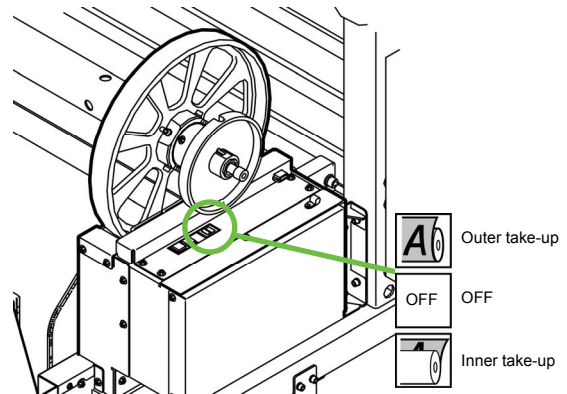
1. After printing, feed the media so that the media is cut at the gap between the platen and paper guide.

2. Open the front cover.

3. With manually pressing the front paper guide's center to fix the media, release the grip force.

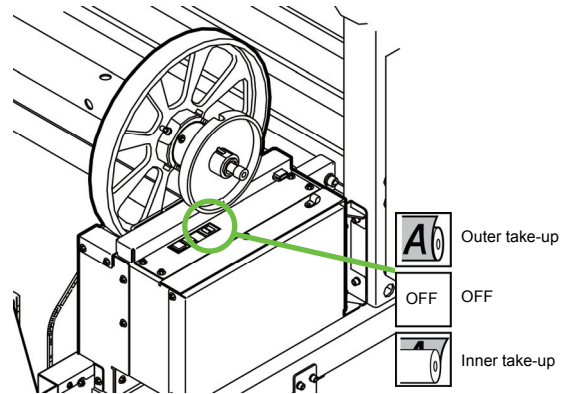
The operation panel beeps, and then the grip force is turned on.

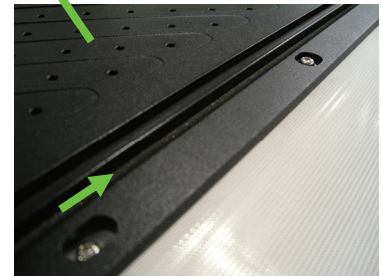
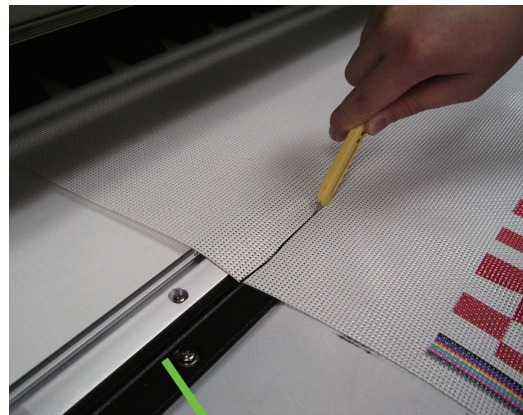
> **Note**
> By setting the grip force to OFF and then ON again, the take-up switch is activated. Do not press any buttons of the operation panel.

4. Turn OFF the take-up direction switch.

5. Open the tension bar guide's cover.

6. Hook the take-up side tension bar on the tension bar hook.

ENGLISH

7. Again press the take-up direction switch corresponding to the take-up direction.

8. Cut the media.
Place the cutter blade at the gap between the platen and the paper guide, and cut the media.

By cutting the media, the remaining media on the mesh print ink tray slackens and its rear face is smeared. This smeared part is removed at the subsequent step.

Gap between the platen and the paper guide to cut the media.

When cutting an expanded media, the following is recommended rather than cutting from a media edge to the other edge.

(a) Cut from a media edge to the media center.

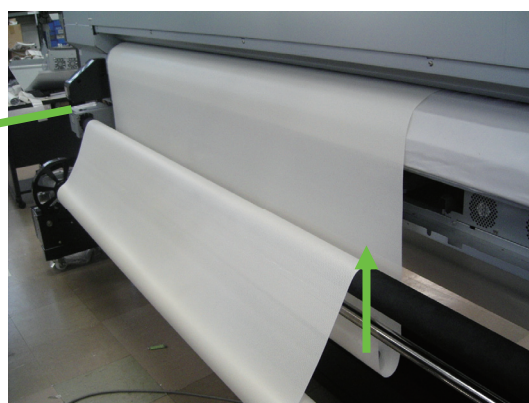
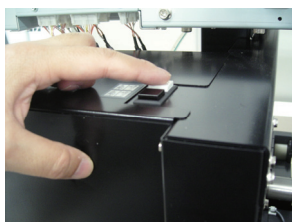
(b) Cut from the opposite side media edge to the media center.

This procedure is effective to avoid the media misalignment.

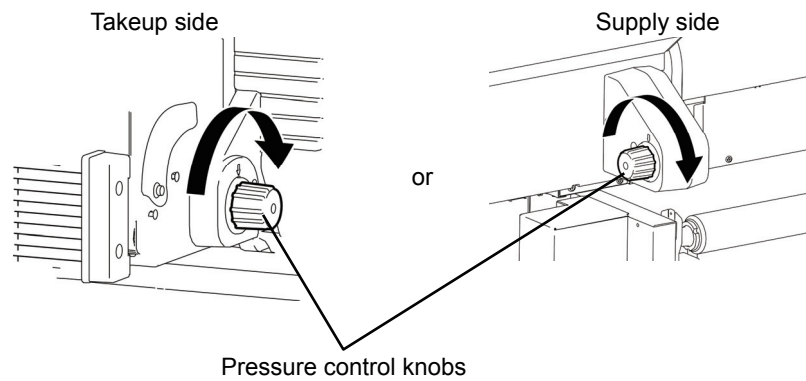
9. By pressing the black take-up switch, wind the media.

10. Remove the media on the mesh print ink tray.

Set the cutter blade at the rear-side edge guard's groove, and cut the media. Then remove the media on the mesh print ink tray carefully so that the ink adhering to the media's rear face would not smear the other parts.

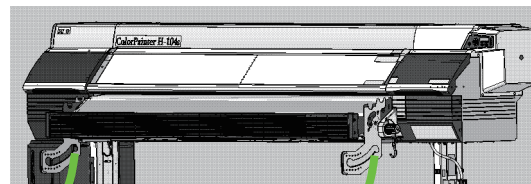
11. To remove the tension bar, lift the supply-side media slack with the white supply-side feed switch.

When the tension bar is lifted to the height you can reach, remove the tension bar.

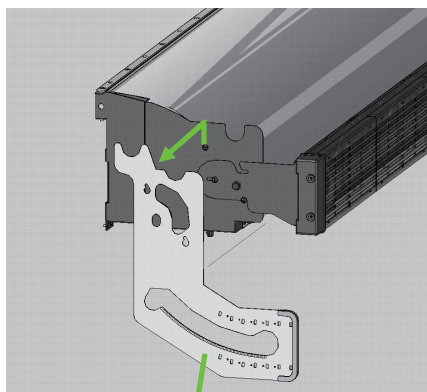
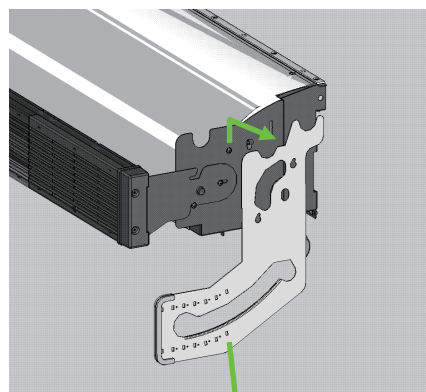
12. With lifting the slack more by pressing the supply-side feed switch, at the same time wind the media by rotating the scroller manually.

13. Lift the pressure roller and release the grip force by rotating the supply-side or takeup-side pressure control knob clockwise.

14. With rotating the unrolling roller by pressing the white supply-side feed switch, at the same time wind the media by rotating the scroller manually.

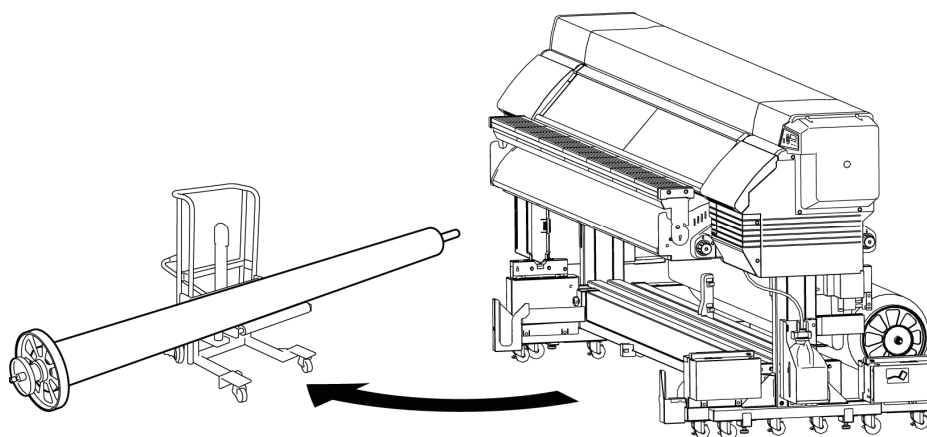
> **Note**
>
> To prevent the motor's damage, do not rotate the unrolling roller forcibly.
> When the media is sticking to the unrolling roller, remove the media carefully so that the unrolling roller would not rotate.

15. Remove the printed media.

(1) When the mesh tension bar was applied, remove it.

Mesh tensioner

(2) Remove the right and left mesh tensioner brackets by sliding upward.

Mesh tensioner bracket

Mesh tensioner bracket

(3) Set a dolly under the wound media and lift the media to remove it.

ENGLISH

■ To remove a mesh printing kit

Remove the mesh printing kit by reversing the installing procedure.

Notes

- Note that the parts to be removed are smeared with ink. With gloves on, remove them carefully so that the ink would not adhere to the printer, your clothes, and the floor.
- After removing, clean up the parts to be used in the future.
- The protection bar can be kept without removing the colgate tube. However, to protect the bar's quality, it is recommended to remove the colgate tube when the bar will not be used for a long time.

1. If the protection bar has been applied, remove it.
2. If the mesh tension bar has been applied, remove it.
3. Remove the mesh tensioner brackets.
4. Remove the mesh print media edge guards,
5. Remove the mesh print absorbent sheet.
6. Remove the mesh print spittoon case and mesh print absorbent sponge.
7. Remove the mesh print ink tray fixing adapter.
8. Remove the mesh print ink tray.
9. Set the edge guards and edge guard stoppers originally attached to the printer.
10. Set a new holder (NET-SOPNGE) to the spittoon unit.
11. Return the protection bar to the original setting position.